明治学院大学学則(案)

第1章 総 則

第1条 明治学院大学は，基督教による人格教育を基礎とし，広く教養を培うとともに，深く専門の学芸を教授研究し，知的応用能力を発揮させることを目的とする。

第1条のⅡ 本学は，前条の目的を達成し，教育研究水準の向上を図り，その社会的責務を果たすために，必要な自己点検・評価を行う。

2 前項の目的を達成するために，点検・評価の方法，実施体制，項目等は，別にこれを定める。

第2条 本学に次の学部および学科を置く。

文学部	英文学科	フランス文学科
	芸術学科	心理学科
経済学部	経済学科	経営学科
	国際経営学科	
社会学部	社会学科	社会福祉学科
法学部	法律学科	政治学科
	消費情報環境法学科	
国際学部	国際学科	国際キャリア学科
心理学部	心理学科	教育発達学科
文学部第二部	英文学科	
経済学部第二部	経済学科	経営学科

第3条 修業年限は，4年とする。ただし，在学年数が8年を超えることができない。

2 2年次に転学科した者の当該学部・学科の修業年限は3年とする。ただし，在学年数が7年を超えることができない。

3 3年次に転学科した者の当該学部・学科の修業年限は2年とする。ただし，在学年数が6年を超えることができない。

4 3年次に編入学した者の当該学部・学科の修業年限は2年とする。ただし，在学年数が4年を超えることができない。

第4条 毎年入学させる学生定員および収容定員は，次のとおりとする。

		(入学定員)	(収容定員)
文学部	英文学科	200	800
	フランス文学科	120	480
	芸術学科	125	500
	心理学科	0	0
経済学部	経済学科	290	1,160
	経営学科	180	720
	国際経営学科	140	560
社会学部	社会学科	230	920
	社会福祉学科	240	960
法学部	法律学科	280	1,120
	政治学科	120	480
	消費情報環境法学科	175	700
国際学部	国際学科	220	880
	国際キャリア学科	50	200
心理学部	心理学科	160	640
	教育発達学科	100	400
計		2,630	10,520
文学部第二部	英文学科	0	0

経済学部第二部	経済学科	0	0
	経営学科	0	0
計		0	0
総計		2,630	10,520

第2章 学部等の目的・教育目標

第5条 本学は学部・学科ごとに、人材養成上の目的・教育目標を以下に定める。

文学部

文学部の教育目的は、さまざまな表現分野にわたる基礎的ないし専門的な知識と応用力、多種の言語と文学・芸術・文化についての理解力、口頭および文章による言語表現力の涵養を通じて、人間とは何か、人間はいかにあるべきかを問い、世界の多様性と変化に対応しつつ、社会に貢献できるような能力と個性を育てることにある。

各学科・課程は画一性におちいることなく、それぞれの目標と方針をもってそうした人材の養成にあたるが、いずれも柔軟な思考と発想を重んじ、個人同士の人間的関係を築けるように導く。こうしてヘボンのキリスト教精神と人間主義、多種の言語や文化への関心を受けつぎ、さらに視野をひろげてゆく姿勢をも共有させる。

英文学科

英文学科の教育目標は一つには、英語による文学・諸芸術の経験を通じて、人間性への洞察と英語圏諸文化への理解を深めることである。また、英語という言語を様々な側面から科学的に研究することにより、人間の相互交流に不可欠なことばの本質・機能について理解を深めることも、重要な目標である。さらに、それらの理解と連動して、実践的な英語コミュニケーション能力をみがくことを目指す。現代の国際語といえる英語を身につけ、言語一般に関する科学的知見を獲得し、英語圏の文学・文化に広く触れる努力をするが、それは、人々と触れ合い、ともに生きること、自己と他者への深い理解と洞察を学ぶことの一環である。

フランス文学科

フランス文学科は、フランスの言語および文学・芸術・歴史・思想の研究を通じて、斬新な視点をもった、創造性あふれる人材を育成しようとする。刺激的な発想や感覚や知識の宝庫であるフランス文化のさまざまな側面に触れさせながら、感性と思考の力を養い、自らの着想を他の人々に確かに伝える表現力を鍛えてゆく。同時に、フランスを基点にしてヨーロッパの全域へ、またアフリカ・南北アメリカなどの多様なフランス語圏へと視野をひろげながら、真に豊かな文明のありようを追求する。こうして、ともすれば画一化されがちな日本社会に向けて、ユニークな発想を求めて提言できる、貴重な人材を送り出してゆきたい。

芸術学科

芸術学科は音楽学系列、美術史学系列、映像芸術学系列、芸術メディア系列という四つの系列で構成されているが、その教育目標は、第一に、学生それぞれの芸術に対する興味の芽生えを大切に育てることである。そして、芸術に関する理論、歴史、それにまつわるコミュニケーションのあり方などを幅広く、かつ深く学べる知的環境を整え、学生が考える力・見る力・聴く力・味わう力を身につけるように指導する。そのために、入門から専門的知識が段階的に学べる創意と工夫に満ちたカリキュラムを用意する。また、各自の系列に関する専門的な知識のみならず、幅広く知的好奇心を刺激する多彩な講義科目を提供することも芸術学科の重要な教育目標である。

教職課程

明治学院大学は、建学の精神であるキリスト教教育を、"Do for Others"という教育理念を通じて実現しようとしている。教職課程の教育目標は、正にその「他者への貢献」を担える人材の育成を目標とする。

"Do for Others"とは「マイノリティへの愛」と言ってよい。教室の隅っこで佇んでいる児童・生徒に目を

配り、そのような児童・生徒にこそ大きな愛情を注ぐことのできる教員の育成を目指す。勿論、それは他の多くの児童・生徒も視野に入れてのことである。

一人ひとりが等しくかけがえのない存在として、生き生きとした表情で過ごすことのできるように、学習指導・生活指導・学級経営(学校経営)、それぞれの側面で教員としての資質と学力と技能を磨くことを目指す。

経済学部

経済学は人・金・物の動きを対象とする非常に広い学問であり、個人あるいは集団の生活と直結した実学である。

経済学部では、いずれの学科でも第一にその分野の基礎力を身につけることを目標とし、同時に、的確な情報収集能力や他人とのコミュニケーション能力の獲得にも力を入れ、健全な倫理観を持ちながら経済学の知識によって社会で活躍できる人材の育成を目指す。

また、経済学の多様性や新しい変化に弾力的に取り組めるよう、身につけた基礎的な力を実際の現場で応用する実践的な科目を多く配置し、これらを習得し、バランス感覚を身につけた『良識のある経済人』の育成を目指す。

経済学科

経済のグローバル化、IT 技術の進歩等を背景に、現代の経済は非常に複雑なものとなっている。経済学科では、複雑化した経済の基本的なメカニズムの理解に必要な、学問としての経済学の基礎を身につけることを第一の教育目標とする。また、その基礎学力の現実の経済問題への応用を通して、経済学的センスと現実の問題に的確に対処できる応用能力を涵養することを第二の教育目標とする。

これらの目標を達成するため、さまざまな経済現象を自分なりに理解する主体的な学習が不可欠である。経済学科は、そのような学習姿勢を育て、自立した経済人を世に送り出すことに主眼をおいたカリキュラムを提供する。

経営学科

経営学科の教育目標は、経営学、商学、会計学の各分野に対して深い理解力と思考力を持ち、同時に各分野を横断的にとらえる能力を備えた人材の育成にある。この目標を達成するため、経営学分野では、経営理論に重点をおく科目、情報分析能力を養う科目、事例分析を中心とした科目の三領域にわたって、企業活動の分析・理解に必要不可欠な知識を獲得できる体系的カリキュラムを提供する。商学分野では、理論的かつ体系的な講義科目、および実証的かつ実践的な演習科目を通して、企業が産み出す商品やサービスに関わるマーケティング活動に必要な知識を提供する。会計学分野では、企業活動を貨幣の動きで記録、計算、報告する情報システムを、理論的および技術的側面から体系的に学ぶことのできるカリキュラムを提供する。

国際経営学科

世界経済のボーダレス化が進むなか、企業や組織ではこれまで以上に国際的に活躍できる人材が求められている。国際経営学科では、新しい時代の要請に応えて、企業の諸問題をグローバルな市場環境のもとで正しく理解できる基礎学力を養うとともに、それをビジネスに活かす国際的なコミュニケーション能力を高めることを教育目標とする。

この目標を達成するため、国際経営学科では、企業の分析に不可欠なコアの学力を養う基礎的なカリキュラムにくわえて、さらに国際的な市場や市場制度と、それに対する企業の適応行動を学べるようなカリキュラムを提供する。海外の言語や国際的なビジネスの実態にも通じたグローバル・マネジャーを育成する。

社会学部

社会学部は、大学の教育理念を受け、設立以来「社会改良の礎石となるべき人材の育成」を追求してきた。現代社会には、「他者」を広く認識し、「他者」が生きる現実から学ぶことで醸成される柔軟かつ多様な

視点、問題を深く捉える思考力、そして、社会に新しい可能性を生み出す構想力あるいは実践力をもつ人材が求められる。したがって、社会学部は、「他者」と「自己」への深い洞察力と寛容の学びを通して、人格と個性を尊重し支え合う社会の形成に貢献し、意欲的に実践する人材を育成する。そのために、多様な葛藤を理解し、課題として追究し、それを表現する力を培い、あわせて、優れた人権感覚と豊かな感性をはぐくむことを教育目標とする。

社会学科

社会学は、さまざまな水準で他者を認知し理解することを目指す学問である。多様な仕方で存在する他者への関心をもち、理解し、ひいてはそこにあるさまざまな葛藤を発見・探求することが、社会的寛容性を高めることにつながる。

社会学科では、現代社会に伏在する多様な問題を発見・追究し、より望ましい社会のヴィジョンを構想し、かつそれに向けて意欲的に実践できる人材の育成を教育目標とする。いいかえれば、私たちが目指す教育とは、学生が社会に対する好奇心をもち他者に気づくことから、そこにある社会の多様な葛藤を理解し、課題として追究し、それを自分なりに表現する力を身につけることである。

社会福祉学科

人間の尊厳と基本的人権を尊重・擁護し、①人としての必要な社会生活上の基本的ニーズを科学的に充足する諸方策について、理論的・実証的に研究を進める能力を養い、②当面する福祉問題、生活課題を解明する方途を習得させ、③これらの問題・課題に対応する具体的施策、実践のための理論・方法を教授する。

福祉開発コースは、福祉社会の創造に貢献する人材育成を目指し、広い社会的視野に立って人間理解を深め、福祉問題の原因・結果と必要な施策・活動を科学的に分析・考察できる能力を養う。

ソーシャルワークコースは、ソーシャルワーカーを養成するために、福祉援助に必要な能力を高め、支援者としてふさわしい人権意識と知識・方法の習得を目指す。

法学部

法学部は、建学の精神であるキリスト教主義教育の伝統にのっとり、他者とりわけ弱者を尊重する自由で平等な社会を主体的に作り上げていくことができる、専門的知識を備えた能動的な市民を育成することを教育理念とする。

この教育理念のもと、法学や政治学が、社会の平和と人々の幸福を目指すものであるという本来の出発点に常にたちかえり、さらには現代社会において新たに発生する諸問題に対処すべく、人間の尊重、弱者救済の視点から、学部における教育・研究を行うものとする。

法律学科

法律学科は、明治学院大学の建学精神にのっとり、法律学の基本的素養を備えた道義心と責任感のある能動的な市民社会の担い手を育成することを教育理念とし、その理念のもと、人格を陶冶し、法律という専門的知識を駆使し、社会と積極的にかかわり、あらゆる機会を通じて社会貢献を目指す真の法律家（職業や地位にかかわらず社会的責任を果たしうる法的知識をもった健全な市民）を養成することを教育目標とする。

消費情報環境法学科

法の根底にある正義・公平の理念を実現するためには、身の回りの人々、環境への配慮、弱者への視線が不可欠であり、"Do for Others"を教育理念とする本学で法律を学ぶ目的は、身につけた法律知識と情報技術を駆使して、法的紛争に直面している人々を助け、私たちの生存に不可欠な自然環境を守り、社会的弱者の境遇を改善するために奉仕することにある。消費情報環境法学科では、現代社会が直面する先端分野の法律問題を、法の理念を踏まえ、適切な解決策を導き出す実践の場としてとりあげ、現代社会で起きる様々な問題に対し、情報技術を使いこなし適切に対処できる応用力を備えた人材の育成を教育目標とする。

政治学科

政治学科は、身近な近隣社会から国際社会にいたるまで、およそ人間社会で発生する問題を解決するため、社会のメンバーが共同の意思決定に参加し実地に問題解決にあたる営為が政治であるという認識を前提として、総合的な学問である政治学の専門知識を教授し、総合的な判断力と批判力をもつ「教養ある政治的市民」の育成を教育理念として掲げ、この教育理念を理解し実践する知性と能力を持ち、意欲に満ち、また、正論を述べる勇気と他者への想像力を備え、品位ある市民社会の一員として積極的に社会とのかかわりを志向する人材の養成を教育目標とする。

国際学部

国際学部の教育目標は、現代のグローバル社会の諸相を理解し、世界の平和と福祉に貢献する人材の育成である。

グローバル社会の諸相を理解するためには、私たちが生活している日本社会を十分に理解したうえで、グローバル社会の諸問題を、政治・経済・文化の各分野から総合的に検討するという研究方法が不可欠であり、この総合的で学際的な研究方法こそ、本学部の顕著な特徴である。

世界の平和と福祉に貢献する人材の育成のためには、現実に生じている複合的な問題を整理し、その解決策を探るだけではなく、世界の他の国の人々と直接コミュニケーションし、共同で作業を行うという経験が必要である。本学部では全学生が在学中にこれらの国際的な経験を積むことができるように配慮する。

国際学科

国際学科は、グローバル社会の諸問題に対する、政治・経済・文化の各分野からの総合的な理解能力を涵養するとともに、多様な国際的実地経験を通して社会的知性をはぐくみ、文化の多様性に対する認識と異文化間コミュニケーション能力を持つ人材を養成することを目標とする。

国際キャリア学科

国際キャリア学科は、グローバル社会の諸問題に対する、政治・経済・文化の各分野からの総合的な理解能力を涵養するとともに、多言語でのコミュニケーション能力を身につけ、多様な環境の下に生きる人々と協力し、リーダーシップを発揮できる能力を持つ人材を養成することを目標とする。

心理学部

心理学部は"Do for Others"の精神のもと、「こころを探り、人を支える」を教育理念として、現代社会で多くの人が遭遇するさまざまな問題に対して支援することができる「心理支援力のある人材の育成」を教育の目標とする。心理学の基礎を習得し、科学的方法論ならびに関連諸科学の学修と実践を通じて、行動を分析し理解する能力を修得し、その上で、各自の専門分野に応じ、生涯発達の諸段階において他者を理解し支援する力を身につけることを目指す。

心理学科

心理学部では「こころを探り、人を支える」というテーマのもと、心理学科の教育目標として、「心理支援力のある人材の育成」を掲げている。複雑化・多元化する現代社会では、生涯発達のプロセスを通じて、ミクロからマクロに至る多様なシステムにおいて、心理学を基盤においた支援を行うことのできる人材の養成が求められている。そこで本学科では、まず心理学の基礎力の確かな学修を出発点とし、こころに関する科学的な方法論を習得する。その上で、自分の興味・関心のある分野を選択しながら、心理学の専門分野を学ぶとともに、幅広い心理支援力を身につけることをねらいとする。また、充実した実験や実習を通して、グループで共に考え行動する経験を得ることにより、学生の自己理解と学生相互の結びつきを深めることも目指している。

教育発達学科

心理学部の「こころを探り、人を支える」というテーマのもと、教育発達学科では「教育発達学の視点からの教育実践力、及び発達支援力のある人材の養成」を教育目標に掲げている。「教育発達学」は、発達や障害に関するメカニズムの理解を基礎とした上で、系統的な教育システムのあり方について分析的・科学的に探求する教育学、心理学、障害科学を融合した学問である。そこで本学科では、人間の生活全体を視野に入れ、教育発達学を基礎として、多様な現場での体験活動を通して、生涯発達における学校との接点を実践的に学び、現代の子どもをめぐる心理的課題に適切に対処できる教育の原理と方法を学修し、学校教育や生涯学習の場における高い教育実践力、及び発達支援力を身に付けることを目指している。

教養教育センター

明治学院共通科目による教養教育は、世界に生起する諸問題について、他者との共生をめざし柔軟かつ誠実に対処することのできる人材の育成を目標とする。そしてその実現のために、外国語教育と諸領域科目の教育が連携し、確かな思考力と表現力を養成するための総合的な教育を推進する。外国語教育においては、コミュニケーション能力の向上と言語を育んできた自他の文化への理解の促進を助成するとともに、学生の自律的学習姿勢の涵養に必要な環境を整える。また、諸領域科目の教育においては、専門的知見の教授を通して、学生が問題を的確に理解するための読解力や分析力、問題解決のための多面的な思考力を身につけることができるよう指導する。

第3章 学年，学期および休業

第6条 学年は，4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終る。

第6条の2 学年を分けて次の2学期とする。

春学期 4 月 1 日から 9 月 30 日まで

秋学期 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

2 授業期間は、各学期の期間中に設ける。ただし、秋学期の授業は春学期中に開始することができる。その他、夏季講座を設け、その運用については別に定める。

第7条 休業日を次の通り定める。

春季休業 2 月4日から 3 月 31 日まで

夏季休業 7 月 31 日から 9 月 26 日まで

冬季休業 12 月 25 日から1月5日まで

日曜日

国民の祝日に関する法律に規定する休日

明治学院創立記念日（11 月 1 日）

臨時休業は，そのつどこれを定める。

2 前項，春季・夏季および冬季の休業日は，変更することができる。

3 第1項の規定に関わらず，教育上必要があるときは，日曜日を除く休日または休業日に授業を行うことがある。

第4章 授業科目および履修方法

第8条 授業科目は，明治学院共通科目，学科科目および教職に関する科目に分ける。

2 授業科目は、その開講時期により春学期開講科目、秋学期開講科目、および春学期から秋学期に継続する通年開講科目に分ける。

第9条 明治学院共通科目，学科科目および教職に関する科目は，それぞれ必修科目と選択科目とに分ける。

第 10 条 明治学院共通科目，学科科目および教職に関する科目の科目名・単位数は別表第 1 のとおりとする。

第 11 条 明治学院共通科目および学科科目は各学部各学科の履修要件に基づいて履修させる。

第 12 条 各学部各学科の学生は，明治学院共通科目と学科科目の定められた単位数を履修しなければならない。

第 13 条　各学部各学科の学生は，所属学科所定の学科科目単位数を超えて履修できる。

第 14 条　教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は，教育職員免許法および教育職員免許法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

2　本学の学部学科において，当該所要資格を取得できる教員の免許状の種類および免許教科は，次のとおりである。

学部名	学科等名	免許状の種類
文学部	英文学科	中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語）
	フランス文学科	中学校教諭一種免許状（フランス語） 高等学校教諭一種免許状（フランス語）
経済学部	経済学科	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史） 高等学校教諭一種免許状（公民） 高等学校教諭一種免許状（商業）
	経営学科	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史） 高等学校教諭一種免許状（公民） 高等学校教諭一種免許状（商業）
	国際経営学科	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史） 高等学校教諭一種免許状（公民） 高等学校教諭一種免許状（商業）
社会学部	社会学科	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史） 高等学校教諭一種免許状（公民）
	社会福祉学科	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（公民） 特別支援学校教諭一種免許状 （知的障害者に関する教育の領域） （肢体不自由者に関する教育の領域） （病弱者に関する教育の領域）
法学部	法律学科	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史） 高等学校教諭一種免許状（公民）
	政治学科	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史） 高等学校教諭一種免許状（公民）
	消費情報環境法学科	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（公民） 高等学校教諭一種免許状（情報）
国際学部	国際学科	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史） 高等学校教諭一種免許状（公民）
心理学部	心理学科	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（公民）

	教育発達学科	幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状 （知的障害者に関する教育の領域） （肢体不自由者に関する教育の領域） （病弱者に関する教育の領域）

第 15 条　毎学年における授業科目の配置は，学部（含む教養教育センター）教授会においてこれを定める。

第 16 条　毎学年の始めにその学年に教授する授業科目の種類，講義題目および授業担任者を公示する。ただし，臨時講義については学部（含む教養教育センター）教授会で随時これを定める。

第 17 条　削除

第5章　入学，留学，退学，休学，転学科，編入学および賞罰

第 18 条　入学期は，春学期の始めとする。

第 19 条　本学に入学できる者は，次の各号の一に該当する者でなければならない。

(1)　高等学校または中等教育学校を卒業した者

(2)　通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者

(3)　高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

イ　外国において，学校教育における 12 年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

ロ　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ハ　専修学校の高等課程（修業年限が三年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

ニ　文部科学大臣の指定した者

ホ　文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定に合格した者を含む）

ヘ　その他大学において，相当の年齢に達し，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

第 20 条　本学に入学を許可される者は，所定の入学試験に合格した者に限る。

2　大学に入学する前に，大学または短期大学において履修した授業科目について，修得した単位の認定については，別に定める。

第 21 条　正当の理由により退学した者または学納金未納により除籍となった者が再入学を志願したときは選考のうえ，これを許可することがある。

第 22 条　本学に入学を志願する者は，別に定める入学検定料を添えて，次の書類を所定の期日までに提出しなければならない。

(1)　本学所定の用紙に認めた入学願書（最近 3 ヵ月以内撮影の写真貼付）

(2)　出身学校長の調査書

(3)　その他別に定める書類

第 23 条　本学に入学を許可された者は，別に定める学納金等を添えて，次の入学手続書類を提出しなければならない。期日までに提出がないときは入学を取り消す。

(1)　保証人連署の誓約を含む「学籍カード」（本学所定用紙）

(2)　住民票・戸籍記載事項証明書・登録原票記載事項証明書のいずれか

第 24 条　保証人は満 25 歳以上の者であって独立の生計を立て，学生在学中に係る一切の事柄につきその責務を果たし得るものでなければならない。本学において不適当と認めたときは，その変更を命ずることがある。

第 25 条　保証人が転居または死亡したときは，その旨ただちに届け出なければならない。
第 26 条　保証人死亡その他でその責を果し得ないときは，新たに保証人を定めなければならない。
第 27 条　外国の大学において，授業科目を履修しようとする者を，明治学院大学学生国際交流規程に基づき留学させることができる。
2　留学期間は，第 3 条に定める修業年限に含むものとする。
第 27 条の 2　教育上有益と認める場合、本学と単位互換について協定する大学において授業科目を履修させることができる。この場合の成績評価は当該大学の成績に基づく本学の成績評価とし、授業科目の単位数は当該大学所定の単位数とする。
第 28 条　退学しようとする者はその理由を記し，保証人連署で願い出なければならない。
2　退学に関する規定は，明治学院大学学籍の取扱いに関する規程に定める。
第 29 条　病気その他やむを得ない事由で引き続き2ヵ月以上登校困難な者は，その事由を具して学部長に願い出てその許可を得て休学することができる。ただし，病気の場合は，医師の診断書を添えなければならない。
2　休学の期間は1学期または2学期とし，1 年以上にわたることはできない。ただし，特別の事情がある者は，願い出により引き続き2学期を限度として休学を許可することがある。
3　休学期間は，通算して8学期を超えることができない。
4　休学期間は，在学年数に通算しない。
5　休学に関する規定は，明治学院大学学籍の取扱いに関する規程に定める。
第 30 条　本学学生で，他の学部の学科または同一学部内の他の学科に転学科を志願した者には選考のうえ，これを許可することがある。
2　前項によって転学科した者の在学年数には，元の学部学科の在学年数の全部または一部を通算することができる。
3　転学科に関する規定は，転学科規程に定める。
第 31 条　他の大学の学生または卒業生が，本学に編入学を志願したときは，選考のうえ，これを許可する。
2　前項により志願することができる者は，次の各号の一に該当する者とする。
⑴　大学の 2 年次を修了し，所定の単位を修得した者または修得見込みの者
⑵　短期大学，高等専門学校を卒業した者または卒業見込みの者
⑶　大学を卒業した者または卒業見込みの者
3　本学を卒業した者または見込みの者が，卒業学科以外の学科に編入学を志願したときは，選考のうえ，これを許可することがある。ただし，卒業見込みで入学を許可された者が，卒業できなかった場合は，許可を取り消すこととする。
4　本学に編入学した者の既修得単位等の認定については，別に定める。
第 32 条　他の大学への編入学を志願する者から許可書の発行を求められた場合は，発行することができる。
第 33 条　人物および学業が優秀な者には，授賞することがある。
第 34 条　学生にして建学の精神にもとり，本学の規則命令に背き，または学生の本分に反する行為があったときは懲戒する。懲戒は譴責，停学および退学とする。
第 35 条　次の各号の一に該当する学生には退学を命ずる。
⑴　性行不良で改善の見込がないと認められる者
⑵　学力劣等で成業の見込がないと認められる者
⑶　正当の理由がなくて出席常でない者
⑷　本学の秩序を乱し，その他学生としての本分に反した者
第 36 条　入学，留学，退学，休学，転学科，編入学，賞罰その他学籍に関する事項は，学部教授会の議を経て学長がこれを定める。

第6章　試験・卒業および称号

第 37 条　試験を分けて授業科目および卒業論文試験とする。

第 38 条　所定の授業科目を履修した者に対し，毎学期末に授業科目試験を施行する。ただし，学部（含む教養教育センター）教授会で平常点をもって授業科目試験に代え得ることを認めた授業科目は，この限りでない。

第 39 条　授業科目試験の施行に関する事項は，学部（含む教養教育センター）教授会においてこれを決定し，各授業科目担任の教員は，その授業科目の試験を施行する。

2　担任教員に事故のあったときは，他の教員がこれを施行することがある。

第 40 条　卒業論文については，その題目に関し学生においてあらかじめ当該授業科目担任教員の承認を経た上，学部長に届出ねばならない。

第 41 条　卒業論文は，卒業年次の指定期日までにこれを学部長に提出しなければならない。

第 42 条　試験の成績は，各授業科目ならびに卒業論文につき，S(100～90 点)、A(89～80 点)、B(79～70 点)、C(69～60 点)、D(59～0 点) および E(評価不能)とし，C 以上を合格とする。合格した授業科目については，授業科目所定の単位数が与えられる。

2　授業科目の単位数は，1単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし，授業の方法に応じ，当該授業による教育効果，授業時間外に必要な学修等を考慮して，次の基準により計算する。

(1)　講義及び演習については，15 時間から 30 時間までの授業をもって1単位とする。

(2)　実験、実習及び実技については，30 時間から 45 時間までの授業をもって1単位とする。

(3)　一つの授業科目について，講義，演習，実験，実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合については，その組み合わせに応じ，前 1 号および2号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(4)　卒業論文，卒業研究等の授業科目については，これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には，これらに必要な学修等を考慮して単位数を定める。

第 42 条の 2　第 20 条第 2 項あるいは第 27 条第 1 項により他大学で修得した単位について、本学の授業科目の履修により修得したものとみなして単位を認定する場合、その成績評価は留学による単位認定を I、その他の単位認定を R として前条の評価の段階を定めない。

2　前項による単位の認定は、第 27 条の 2 による単位と合わせて 60 単位を超えない範囲とする。ただし、第 31 条第 4 項の単位を含めない。

3　第 42 条第 1 項の規定にかかわらず、学部（含む教養教育センター）教授会が教育上有益と認める場合、一つの授業科目について予めその成績評価の段階を定めない科目とすることができる。この場合の成績評価は、合格をP、不合格をFとする。

第43条　本学に4年以上在学して所定の授業科目を履修し，その授業科目の試験および卒業論文の提出者でその試験に合格し，所定の単位数を取得した者には卒業証書・学位記を授与する。

2　本学学部に 3 年以上在学し，当該学部の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認められる者には，「本学学部 3 年修了者の本学大学院への早期入学等に関する規程」に基づき，3 条1項の規定にかかわらず，卒業証書・学位記を授与することができる。

第 44 条　本学卒業者には以下に定める学士の学位を授与する。

文学部	英文学科	学士（英文学）
	フランス文学科	学士（フランス文学）
	芸術学科	学士（芸術学）
	心理学科	学士（心理学）
経済学部	経済学科	学士（経済学）
	経営学科	学士（経営学）
	国際経営学科	学士（国際経営学）
社会学部	社会学科	学士（社会学）
	社会福祉学科	学士（社会福祉学）
法学部	法律学科	学士（法学）
	政治学科	学士（政治学）
	消費情報環境法学科	学士（法学）

国際学部	国際学科	学士(国際学)
	国際キャリア学科	学士(国際学)
心理学部	心理学科	学士(心理学)
	教育発達学科	学士(教育発達学)

第7章 入学検定料および学納金

第 45 条 入学金、授業料、施設費、設備費、実験実習料、教育維持費およびその他諸費を学納金という。

第 46 条 入学を志願する者は，入学検定料を前納しなければならない。入学検定料の細目は，明治学院大学学納金等取扱細則に定める。

2 入学または編入学を許可された者は，別表第2－1に定める入学金を別に定める学納金と共に所定の期日までに納付しなければならない。

第 47 条 学納金のうち，授業料，施設費，設備費，実験実習料，教育維持費は，年額の2分の1の額を，それぞれの学期の学納金とし，春学期が4月末日，秋学期が 10 月末日までに納付しなければならない。

2 授業料、施設費、設備費は、別表第 2 に定める。実験実習料、教育維持費およびその他諸費の細目は、明治学院大学学納金等取扱細則に定める。

第 48 条 削除

第 49 条 学納金を期日までに納付しない者は除籍とする。

2 除籍に関する規定は，明治学院大学学籍の取扱いに関する規程に定める。

第 50 条 既に納付した学納金は，事情のいかんにかかわらず，これを返却しない。

第 51 条 第 27 条第 1 項に定める留学を許可された者は，留学期間中の在籍料を納付しなければならない。在籍料は、明治学院大学学納金等取扱細則に定める。ただし，協定によるものは別に定める。

2 第29条第1項に定める休学を許可された者は，休学期間中の在籍料を納付しなければならない。在籍料は、明治学院大学学納金等取扱細則に定める。

第 52 条 学期の中途で退学する者は，その学期分の学納金を納付しなければならない。

第8章 職員組織

第 53 条 本学に次の職員を置く。

学長
副学長
学部(含む教養教育センター，法務職研究科)長
教授
准教授
講師
助手
副手
技術員
事務職員
その他

第 54 条 学長は，大学教授の経歴を有する者の中より理事会これを任命する。

2 学長は，本学一般の事項を掌り所属職員を統督する。

第55条 学部に学部長各1人を置き，その学部に属する教授の中より理事会これを補する。教養教育センターにセンター長 1 人を置き，そのセンターに属する教授の中より理事会これを補する。法務職研究科に研究科長 1 人を置き，その研究科に属する教授の中より理事会これを補する。学部(含む教養教育センター，法務職研究科)長は，学長の監督の下にその学部(含む教養教育センター，法務職研究科)の事項をつかさどる。

第 56 条 教授は、専攻分野について教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及び実績を

有する者であって、学生を教授し，その研究を指導する。
第 57 条 准教授は、専攻分野について教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し，その研究を指導する。
第 58 条 講師は，教授または准教授に準ずる職務に従事する。
第 59 条 助手は，所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。
第 60 条 副手の職務は，前項に準ずる。
第 61 条 本学に前条のほか，若干名の技術員を置くことができる。
第 62 条 本学に前各条のほか，必要な事務職員を置くことができる。
第 63 条 学長は，必要ある場合に講師を嘱託することができる。
第 64 条 本学に付属図書館を置く。
2 図書館に図書館長を置き，教授の中よりこれを補する。
3 図書館長は，学長の監督の下に図書館の事務をつかさどる。
第 65 条 学部（含む教養教育センター）に教授会を置き，教授をもって組織する。ただし，必要により准教授，専任講師，助手を加えることができる。
第 66 条 学部長は，教授会を招集し，その議長となる。
2 教授会は，次の事項を審議する。ただし，第 1 号より第 5 号までの事項については，その決定は大学評議会の承認を得なければならない。
(1) 学部長候補者の推薦に関する事項
(2) 教員の任免，留学者の人選等学部の人事に関する事項
(3) 学部の予算編成に関する事項
(4) 学科の設置および廃止に関する事項
(5) 授業科目の設置および廃止に関する事項
(6) 学科課程ならびに履修指導に関する事項
(7) 入学，留学，退学，休学，転学科および編入学に関する事項
(8) 学生の賞罰に関する事項
(9) 試験および卒業に関する事項
(10) 委託生，科目等履修生および外国人学生に関する事項
(11) その他学部の組織運営に関する事項
第 67 条 教養教育センター長は教授会を招集し，その議長となる。
2 教授会は次の事項を審議する。ただし，第 1 号より第 4 号までの事項については，その決定は大学評議会の承認を得なければならない。
(1) 教養教育センター長候補者の推薦に関する事項
(2) 教員の任免，留学者の人選等教養教育センターの人事に関する事項
(3) 教養教育センターの予算編成に関する事項
(4) 授業科目の設置および廃止に関する事項
(5) 授業科目の履修指導に関する事項
(6) 試験および入学，卒業に関する事項
(7) 委託生，科目等履修生および外国人学生に関する事項
(8) その他教養教育センターの組織運営に関する事項
第 68 条 本学に大学評議会を置き，学長，学部（含む教養教育センター，法務職研究科）長と各学部（含む教養教育センター，法務職研究科）教授会より選出された教授各 2 名をもって組織する。
2 学長は大学評議会を招集し，その議長となる。
第 69 条 大学評議会は，下記の事項を審議する。
(1) 学部（含む教養教育センター，法務職研究科）長候補者の推薦に関する事項
(2) 教員の任免，留学者の人選等大学の人事に関する事項
(3) 大学の予算編成に関する事項
(4) 学部（含む教養教育センター），学科の設置および廃止に関する事項
(4 の 2) 研究科，専攻の設置および廃止に関する事項

(5) 授業科目の設置および廃止に関する事項
(6) 大学の組織および運営に関する事項
(7) 学則，その他重要規則の変更に関する事項
(8) その他学内の連絡調整を要する事項

第 70 条 本学に連合教授会を置き，各学部（含む教養教育センター，法務職研究科）の教授，准教授，専任講師をもって組織する。

2 学長は連合教授会を招集し，その議長となる。ただし，必要により助手，副手および職員を加えることができる。

第 71 条 連合教授会は，次の事項を審議する。
(1) 学長候補者の推薦に関する事項
(2) 研究科，学部およびこれに準ずる組織の設置ならびに廃止に関する事項
(3) その他学長の諮問した全学的事項

第 72 条 本学に功あり，または学術上功績ある者には，名誉教授の称号を与えることができる。

第9章 委託生・科目等履修生および外国人学生

第 73 条 官公庁，法人または外国政府より委託せられた学生を委託生とする。

第 74 条 委託生の入学に関しては，当該学部学科生の学修に妨げのない限り選考の上，これを許可することがある。

第 75 条 本学学生以外の者が，本学所定の授業科目中，1 科目または数科目を選び履修を希望する場合は，当該学部学科生の学修に妨げのない限り選考の上，科目等履修生としてこれを許可することがある。

2 科目等履修生の入学に関しては，学年ごとにこれを許可する。

3 本学は，授業科目を履修した科目等履修生に対し，試験の上，合格した場合に単位を与える。

第 76 条 科目等履修生に関する規程は，別に定める。

2 科目等履修生の選考料および学納金等については，別に定める。

3 科目等履修生には，前各号に定めるもののほか，本学則の他の各章の規定を準用する。

第 77 条 外国人にして本学に入学しようとする者があるときは，別に定める規程により選考の上，これを許可することがある。

第 78 条 委託生および外国人学生には，本章に規定するもののほか，本学則における他の各章の規定のすべてを準用する。

第 10 章 図書館

第 79 条 明治学院大学付属図書館は，本学所属図書の管理に関する事務をつかさどる。

第 80 条 図書館に関する細則は，別に定めるところによる。

第 11 章 研究所等

第 81 条 本学に次の研究所を置く。各研究所の規程は，別にこれを定める。
(1) 明治学院大学キリスト教研究所
(2) 明治学院大学国際平和研究所
(3) 明治学院大学言語文化研究所（文学部所属）
(4) 明治学院大学産業経済研究所（経済学部所属）
(5) 明治学院大学社会学部付属研究所（社会学部所属）
(6) 明治学院大学法律科学研究所（法学部所属）
(7) 明治学院大学国際学部付属研究所（国際学部所属）
(8) 明治学院大学心理学部付属研究所（心理学部所属）
(9) 明治学院大学教養教育センター付属研究所（教養教育センター所属）

付 則

この学則は，昭和 24 年 4 月 1 日からこれを施行する。

付 則

第 10 条社会学科改正規定の項は，昭和 29 年 4 月 1 日から適用する。

付 則

昭和 31 年 4 月 1 日から一部改正施行

付 則

第 45 条および第 85 条（文学部児童相談所）の項は昭和 34 年 4 月 1 日より適用する。

付 則

第 85 条（家庭福祉研究所名称変更）の項は，昭和 37 年 10 月 1 日より適用する。

付 則

第 46 条から第 48 条および第 75 条から第 79 条の項は，昭和 38 年 4 月 1 日より適用する。

付 則

第 2 条（文学部フランス文学科，社会学部，社会学部第二部設置），第 4 条（学生定員変更），第 10 条（外国語科目，フランス語を追加），第 12 条（フランス語追加に伴う取得単位の変更）ないし第 15 条（教職の専門教育科目にフランス語科教育法を追加），第 45 条（学士号の称号を加えた）ないし第 48 条および第 85 条の第1号ないし第3号（キリスト教研究所・語学研究所・産業経済研究所開設）について，昭和 40 年 4 月 1 日より適用する。

付 則

昭和 41 年 4 月 1 日一部改正施行（法学部，法学部第二部の設置による改正，第 11 章に学生寮追加）

付 則

昭和 43 年 4 月 1 日一部改正施行（第 4 条経済学部・社会学部学生定員変更）

付 則

昭和 46 年 4 月 1 日一部改正施行。ただし，第 12 条の改正規定（一般教育科目および法学部関係箇所）は 71 年度生より適用し，70 年度生以上については従前の規定による。第 85 条の項（法律科学研究所・外国語教育研究所設置）

付 則

昭和 47 年4月1日一部改正施行（第 4 条総定員を規定した。第 10 条経済学部，社会学部，法学部の授業科目および履修方法の変更）

付 則

昭和 48 年 4 月 1 日一部改正施行（第 10 条フランス文学科の授業科目および履修方法の変更）

付 則

昭和 49 年 4 月 1 日一部改正施行（第 10 条英文学科，社会福祉学科，法律学科の授業科目の変更）

付 則

昭和 50 年 4 月 1 日一部改正施行（第 10 条経済学科，商学科の授業科目の開設および変更）

付 則

昭和 51 年 4 月 1 日一部改正施行

第 3 条ただし書き，第 29 条第 2 項ただし書きおよび同条第 3 項の規定は，1976 年度入学者よりこれを適用する。（第4条全学部学生定員変更）

付 則

昭和 52 年 4 月 1 日一部改正施行

ただし，第 12 条および第 13 条改正規定（経済学部関係箇所）は，1977 年度第一部経済学部入学者より適用し，1976 年度生以上については，従前の規定による。

付 則

昭和 53 年 4 月 1 日一部改正施行（第 10 条一般教育科目人文系および社会系授業科目増設，英文学科，フランス文学科，社会福祉学科，第二部社会学科，法律学科および教職に関する専門教育科目の単位数変更または授業科目の変更，削除および既開講科目の確認追加）

付 則

昭和 54 年 4 月 1 日一部改正施行（第 10 条経済学科，商学科，法律学科の授業科目の開設および変

更)

付 則

昭和55年4月1日一部改正施行(第10条一般教育科目人文系および経済学科，商学科，社会学科の授業科目の変更，新設ならびに削除。第12条社会学部社会学科取得単位数の変更。第14条教育職員免許状の種類および免許教科等の明記。第 20 条第3号の入学についての項を一部追加した。第 43 条，第79条字句修正。)

付 則

昭和56年4月1日一部改正施行(第7条休業日について一項を追加した。第10条商学科，社会福祉学科，法律学科の授業科目の変更・開設ならびに削除。第 12 条社会福祉学科取得単位数の変更。第15条教職の専門教育科目を追加した。第20条第3号の入学についての項を一部追加した。第21条第2項，第32条第2項に既修得単位認定について明記した。第48条授業料について，漸増方式をとり入れ明記した。)

付 則

昭和57年4月1日一部改正施行(第10条経済学科，商学科の授業科目の開設。第15条教職の専門教育科目の確認追加。第20条第3号の入学についての項を一部変更した。)

付 則

昭和58年4月1日一部改正施行(第10条一般教育科目社会系，経済学科，商学科，社会学科，社会福祉学科，第二部社会学科の授業科目の開設および既開講科目の確認追加。第 15 条，教職の専門教育科目の変更。)

付 則

昭和59年4月1日一部改正施行(第10条文学部共通科目と経済学部専門教育科目および社会学部第二部専門教育科目に新開講科目追加。第24条の入学についての項を改定。)

付 則

昭和60年4月1日一部改正施行(第4条入学定員および総定員数の変更。第10条英文学科，フランス文学科，商学科，社会学科，法律学科授業科目の変更，開設ならびに削除。第二部社会学科授業科目の変更，開設ならびに単位数の変更。第12条，第13条英文学科，フランス文学科取得単位数の変更。第20条入学の項について改定。第28条協定，認定する外国大学の授業科目についての条項新設。旧29条，旧30条を統合し，第30条に改定。第37条留学の項追加。第52条留学中の校納金について追加。第67条教授会の審議事項に留学に関する項を追加。)

付 則

昭和61年4月1日一部改正施行(第2条国際学部国際学科追加。第4条国際学科を入学定員，総定員に追加し，計，総計の変更。第 10 条一般教育科目社会系，自然系，文学部共通科目，英文学科，経済学科，社会学科，社会福祉学科，法律学科，国際学科の授業科目の変更，開設ならびに削除，第12条，第13条国際学科の取得単位数について，第45条国際学科の学士号追加。第46条入学検定料の改訂。第86条学生寮の廃寮により削除。)

ただし，学則第4条の規定にかかわらず，昭和61年度から昭和74年度までの間の入学定員は，次のとおりとする。

(学部・学科等)		(入学定員)
文学部	英文学科	280 人
	フランス文学科	160
経済学部	経済学科	280
	商学科	280
社会学部	社会学科	200
	社会福祉学科	200
法学部	法律学科	500
国際学部	国際学科	200
計		2,100
文学部第二部	英文学科	100

経済学部第二部	経済学科	100
	商学科	100
社会学部第二部	社会学科	100
法学部第二部	法律学科	100
計		500
総計		2,600

付 則

昭和62年4月1日一部改正施行(第10条一般教育科目人文系, 自然系, 共通, 特殊, 第一外国語, 英文学科, 経済学部第二部経済学科, 商学科, 社会学科, 社会福祉学科, 第二部社会学科の授業科目の開設ならびに変更。第81条外国人留学生受入への対応。第85条国際学部平和研究所設置。)

付 則

昭和63年4月1日一部改正施行(第10条一般教育, 英文学科, フランス文学科, 経済学科, 商学科, 第二部経済学科, 第二部商学科, 社会学科, 社会福祉学科, 第二部社会学科, 法律学科の授業科目の開設, 変更, 削除。第12条第二外国語を追加。第24条, 第50条, 第51条, 第52条, 第53条校納金の呼称変更。旧第46条, 第47条を統合し第47条とする。また旧第49条は前半を第48条第2項に, 後半を第46条に加筆編入する。第48条, 第49条, 第78条納付金額変更及び明記。なお, 第48条第1項及び第49条の規定は昭和63年度入学者より適用し, 昭和62年度以前の入学者は従前の例による。)

付 則

昭和63年10月1日一部改正施行(第10条社会福祉学科の授業科目開設。)

付 則

平成元年4月1日一部改正施行(第10条の授業科目名・履修単位数を別表に移行ならびに授業科目の開設, 変更, 削除。第20条の整備。第35条, 第36条の修正。第47条, 第48条, 第49条, 第78条学納金額の変更。)

付 則

平成元年12月1日一部改正施行(第85条国際学部附属研究所設置。)

付 則

平成2年4月1日一部改正施行(文学部芸術学科, 文学部心理学科, 法学部政治学科を増設。それにかかわる入学定員は付則昭和61年4月1日一部改正施行の別表を変更。

(学部・学科等)		(入学定員)
文学部	英文学科	200人
	フランス文学科	120
	芸術学科	60
	心理学科	60
法学部	法律学科	400
	政治学科	100

第10条授業科目および履修方法の別表における授業科目の開設, 変更, 削除および履修方法の一部変更。第14条教員免許状の種類・免許教科の改定, 心理学科および政治学科の免許教科の開設。第15条教職に関する専門教育科目の変更。なお, 第14条の免許教科および第15条の規定は平成2年度より適用し, 平成元年度以前の入学者は従前の例による。第47条, 第48条, 第49条, 第78条学納金額の変更。)

付 則

平成2年4月1日一部改正施行(第14条教員免許状の免許教科の改定。第15条教職に関する専門教育科目の変更。なお, 第14条および第15条の規定は平成2年度より適用し, 平成元年度までの入学者は, 従前の例による。)

付 則

平成3年4月1日一部改正施行(期間を付して学生収容定員を増加し, それにかかわる入学定員については, 付則平成2年4月1日学則改正一部改正施行の別表を次の通りとする。

（学部・学科等）		（入学定員）
文学部	英文学科	240 人
	フランス文学科	140
	芸術学科	70
	心理学科	70
法学部	政治学科	120

第 10 条授業科目および履修方法の別表における授業科目の開設，変更，削除および履修方法の一部変更。第 47 条，第 48 条，第 49 条，第 78 条学納金額の変更。）

付 則

平成 3 年 7 月 1 日一部改正施行（第 4 条，第 44 条，第 45 条の変更）

付 則

平成 4 年 1 月 27 日一部改正施行（第 45 条の変更）

付 則

平成 4 年 4 月 1 日一部改正施行（期間を付して学生収容定員を増加し，それにかかわる入学定員については，付則平成 3 年 4 月 1 日学則改正一部改正施行の別表を次の通りとする。

（学部・学科等）		（入学定員）
国際学部	国際学科	250 人

第 10 条授業科目および履修方法の別表における授業科目の開設，変更，削除および履修方法の一部変更。第 15 条教職に関する科目の変更。第 47 条，第 48 条，第 49 条，第 78 条の学納金額の変更。）

付 則

平成 5 年 4 月 1 日一部改正施行（第 10 条授業科目および履修方法の別表における授業科目の開設，変更，削除。第 20 条入学についての項を改定。第 47 条入学検定料，第 48 条，第 49 条学納金額の変更。第 67 条，第 67 条のⅡ聴講生の呼称変更。旧第 75 条，第 76 条，第 77 条，第 78 条，第 79 条，第 80 条を統合し，第 75 条，第 76 条に改定）

付 則

平成 6 年 4 月 1 日一部改正施行（第 1 条のⅡを制定，第 10 条授業科目および履修方法の別表における授業科目の開設，変更，廃止。第 15 条教職に関する科目の新設。第 48 条，第 49 条学納金額の変更。）

付 則

平成 7 年 4 月 1 日一部改正施行（第 10 条授業科目および履修方法の別表における授業科目の開設，変更，廃止および履修方法の一部変更，同一授業科目の区分表記の変更。第 14 条国際学部国際学科の教員免許状の免許教科開設。第 15 条教職に関する科目の変更。第 48 条，第 49 条学納金額の変更および年度の修正。第 81 条明治学院大学国際平和研究所に名称変更。）

付 則

平成 7 年 8 月 1 日一部改正施行（第 55 条）

付 則

平成 8 年 4 月 1 日一部改正施行（第 2 条，第 4 条，第 14 条，第 45 条経営学科に名称を変更。ただし，1996 年度の入学者より適用し，1995 年度までの入学者は従前の例による。第 10 条履修方法の別表における授業科目の新設，変更，廃止および履修方法の一部変更。第 12 条字句削除。第 48 条，第 49 条学納金額の変更および年度の修正）

付 則

平成 9 年 4 月 1 日一部改正施行（第 10 条授業科目および履修方法の別表。第 48 条，第 49 条）

付 則

平成 10 年 4 月 1 日一部改正施行（第 8 条，第 9 条，第 10 条，第 11 条，第 12 条，第 13 条の変更。第 15 条削除により第 16 条から第 67 条のⅡの各条文繰り上げ。および第 10 条授業科目および履修方法の別表，第 31 条，第 47 条，第 48 条の変更。）

付 則

平成 11 年 4 月 1 日一部改正施行（第 10 条授業科目および履修方法の別表，ならびに第 46 条，第

47 条, 第 48 条の変更。)

付 則

平成 12 年 4 月 1 日一部改正施行(期間を付した入学定員の延長。第2条, 第4条, 第 44 条法学部消費情報環境法学科の増設。第4条社会学部社会学科および社会福祉学科の収容定員増加。これに伴い第4条法学部法律学科の恒常的入学定員の変更ならびに社会学部第二部社会学科および法学部第二部法律学科の学生募集を停止し, 在学生の卒業を待って廃止。これらにかかわる入学定員は次のとおりとする。

学　部	学　科	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度
文学部	英文学科	236	232	228	224	220
	フランス文学科	136	132	128	124	120
	芸術学科	69	68	67	66	65
	心理学科	69	68	67	66	65
経済学部	経済学科	275	270	265	260	255
	経営学科	275	270	265	260	255
社会学部	社会学科 昼間主コース	196	192	188	184	180
	夜間主コース	50	50	50	50	50
	社会福祉学科 昼間主コース	196	192	188	184	180
	夜間主コース	50	50	50	50	50
法学部	法律学科	315	305	295	285	275
	政治学科	118	116	114	112	110
	消費情報環境法学科 昼間主コース	75	75	75	75	75
	夜間主コース	75	75	75	75	75
国際学部	国際学科	245	240	235	230	225
文学部第二部	英文学科	100	100	100	100	100
経済学部第二部	経済学科	100	100	100	100	100
	経営学科	100	100	100	100	100
社会学部第二部	社会学科	0	0	0	0	0
法学部第二部	法律学科	0	0	0	0	0
合　計		2,680	2,635	2,590	2,545	2,500

第 10 条授業科目および履修の方法の別表, ならびに第 47 条, 第 48 条の変更。第 14 条教員免許状の種類の変更。)

付 則

平成 13 年 4 月 1 日一部改正施行(第 42 条 成績評価基準を 5 等に変更。ただし 2001 年度入学者より適用し, 2000 年度までの入学者は従前の例による。第 47 条, 第 48 条 学納金を別表とする。第 10 条授業科目および履修方法の別表, ならびに第 3 条, 第 6 条, 第 7 条, 第 17 条, 第 18 条, 第 19 条, 第

20 条, 第 21 条, 第 23 条, 第 24 条, 第 25 条, 第 26 条, 第 27 条, 第 28 条, 第 30 条, 第 31 条, 第 32 条, 第 36 条, 第 45 条, 第 49 条の変更。)

付 則

平成 13 年 10 月 1 日一部改正施行(第 10 章 章名, 第 81 条第 2 項 心理臨床センター設置による変更。)

付 則

平成13年10月17日一部改正施行(第71条⑵明治学院大学学部長候補者等選挙規則改正に伴う変更。)

付 則

平成14年4月1日一部改正施行(文学部心理学科の収容定員増加。第10条別表第1授業科目および履修の方法ならびに第47条別表第2－2の変更。第15条, 第16条, 第38条, 第39条第1項, 第53条, 第55条, 第65条, 第67条第1項, 第2項, 第68条第1項, 第69条, 第70条第1項, 第81条第1項一般教育部廃止および教養教育センター設置による変更。)

付 則

平成15年4月1日一部改正施行(第10条別表第1授業科目および履修の方法, ならびに第19条, 第21条, 第47条別表第2－2の変更。第81条外国語教育研究所廃止による変更。)

付 則

平成15年10月1日一部改正施行(第43条第2項大学院早期入学者の学位授与の定めの新設)

付 則

平成16年4月1日一部改正施行(期間を付した入学定員を廃止し, 恒常的入学定員に変更。第4条文学部フランス文学科, 同芸術学科, 経済学部経済学科, 同経営学科, 社会学部社会学科昼間主コース, 同社会福祉学科昼間主コース, 法学部法律学科, 同政治学科, 同消費情報環境法学科昼間主コース, 国際学部国際学科の収容定員を増加。第2条, 第4条, 第14条, 第44条心理学部心理学科の設置。これに伴い文学部心理学科の学生募集を停止し, 在学生の卒業を待って廃止。第10条別表第1授業科目および履修の方法ならびに第20条, 第47条別表第2－2, 第53条, 第55条, 第68条, 第69条, 第70条, 第71条, 第81条の変更。)

付 則

平成17年4月1日一部改正施行(第4条 社会学部社会学科夜間主コース, 同社会福祉学科夜間主コース, 法学部消費情報環境法学科夜間主コース, 文学部第二部英文学科, 経済学部第二部経済学科, 同経営学科の学生募集を停止し, 在学生の卒業を待って廃止。これに伴い文学部英文学科, 同フランス文学科, 同芸術学科, 経済学部経済学科, 同経営学科, 社会学部社会学科, 同社会福祉学科, 法学部法律学科, 同政治学科, 同消費情報環境法学科, 国際学部国際学科の収容定員を増加。別表第1, 第14条第2項, 第45条, 第51条第2項, 別表第2－2授業料の変更。)

付 則

平成18年4月1日一部改正施行(第2条, 第4条, 第14条第2項, 第44条 経済学部国際経営学科の設置。文学部芸術学科, 経済学部経済学科, 同経営学科, 法学部法律学科, 同消費情報環境法学科の収容定員を変更。第19条⑶ニの変更。第45条, 第47条第2項, 別表第1, 別表第2－1, 別表第2－2の変更。別表第2－3, 別表第2－4の追加。)

付 則

平成19年4月1日一部改正施行(第2条, 第4条 法学部第二部法律学科の廃止。第7条 休業日の例外。

第8条，第9条，第10条，第11条，第12条　全学共通科目の表記を明治学院共通科目に。第14条第2項　学校教育法等の一部改正による免許状の種類の変更。第53条，第56条，第57条，第58条，第59条，第65条，第70条　学校教育法の一部改正による助教授の名称変更。第76条第2項　学納金等取扱細則の変更による。別表第1，別表第2－2，別表第2－3の変更。）

付　則

平成19年9月1日一部改正施行（別表第1の変更。）

付　則

平成20年4月1日一部改正施行（第2条，第4条　社会学部第二部社会学科の廃止。人材養成上の目的・教育目標を定めて第5条とし、以下第6条(の2)までを繰下げ。第6条の2，第8条の変更。別表第1，別表第2－2，別表第2－3，別表第2－4の変更。）

付　則

平成20年9月1日一部改正施行（第19条　入学できる者の追加。第42条　単位数の定義の文言の修正。別表第1の変更。）

付　則

平成21年4月1日一部改正施行（第3、30、36、66条　転部を廃止して転学科のみに。第14条第2項　消費情報環境法学科の免許状に「情報」を追加。第27条の2　単位互換制度発足に伴う条項追加。第42条、第42条の2　成績評価の点数の明示、単位の認定における成績評価。別表第1，別表第2-2の変更。）

付　則

平成21年9月1日一部改正施行（別表第1の変更。）

付　則

平成22年4月1日一部改正施行（第2，4，5，14条2項，44条　心理学部教育発達学科の設置。文学部英文学科，心理学部心理学科の収容定員を変更。第5条　学部ごとの目的・教育目標を定めた。第42条の2に第3項を追加　成績評価の段階を定めない科目。第51条　留学・休学期間中の在籍料。別表第1，別表第2-2，別表2-4の変更。）

付　則

平成23年4月1日一部改正施行（第2，4，5，44条　国際学部国際キャリア学科の設置。国際学部国際学科の収容定員を変更。別表第1，別表第2-2，別表第2-4の変更。）

別表第１ 授業科目および履修方法の別表

明治学院共通科目

この明治学院共通科目は全ての学部・学科に適用する。

[C 群]

1. キリスト教基本科目

ｷﾘｽﾄ教の基礎 A	2	ｷﾘｽﾄ教の基礎 B	2

2. 外国語基本科目

英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 1A	1	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 1B	1
英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 2A	1	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 2B	1
初習英語 1A	1	初習英語 1B	1
初習英語 2A	1	初習英語 2B	1
英語 1A	1	英語 1B	1
英語 2A	1	英語 2B	1
ﾌﾗﾝｽ語 1A	1	ﾌﾗﾝｽ語 1B	1
ﾌﾗﾝｽ語 2A	1	ﾌﾗﾝｽ語 2B	1
ﾌﾗﾝｽ語 3A	1	ﾌﾗﾝｽ語 3B	1
ﾌﾗﾝｽ語 4A	1	ﾌﾗﾝｽ語 4B	1
中国語 1A	1	中国語 1B	1
中国語 2A	1	中国語 2B	1
中国語 3A	1	中国語 3B	1
中国語 4A	1	中国語 4B	1
ﾄﾞｲﾂ語 1A	1	ﾄﾞｲﾂ語 1B	1
ﾄﾞｲﾂ語 2A	1	ﾄﾞｲﾂ語 2B	1
ﾄﾞｲﾂ語 3A	1	ﾄﾞｲﾂ語 3B	1
ﾄﾞｲﾂ語 4A	1	ﾄﾞｲﾂ語 4B	1
ｽﾍﾟｲﾝ語 1A	1	ｽﾍﾟｲﾝ語 1B	1
ｽﾍﾟｲﾝ語 2A	1	ｽﾍﾟｲﾝ語 2B	1
ｽﾍﾟｲﾝ語 3A	1	ｽﾍﾟｲﾝ語 3B	1
ｽﾍﾟｲﾝ語 4A	1	ｽﾍﾟｲﾝ語 4B	1
ﾛｼｱ語 1A	1	ﾛｼｱ語 1B	1
ﾛｼｱ語 2A	1	ﾛｼｱ語 2B	1
ﾛｼｱ語 3A	1	ﾛｼｱ語 3B	1
ﾛｼｱ語 4A	1	ﾛｼｱ語 4B	1
韓国語 1A	1	韓国語 1B	1
韓国語 2A	1	韓国語 2B	1
韓国語 3A	1	韓国語 3B	1
韓国語 4A	1	韓国語 4B	1
日本語 1A	1	日本語 1B	1
日本語 2A	1	日本語 2B	1
日本語 3A	1	日本語 3B	1
日本語 4A	1	日本語 4B	1

3. 情報処理基本科目

ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ 1	2	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ 2	2

4. レポートライティング基本科目

ｱｶﾃﾞﾐｯｸﾘﾃﾗｼｰ 1	2	ｱｶﾃﾞﾐｯｸﾘﾃﾗｼｰ 2	2

［D 群］

1. 人文科学系科目

ｷﾘｽﾄ教の諸相 1	2	ｷﾘｽﾄ教の諸相2	2
ｷﾘｽﾄ教の諸相3	2	ｷﾘｽﾄ教の諸相4	2
ｷﾘｽﾄ教の諸相5	2	ｷﾘｽﾄ教の諸相6	2
ｷﾘｽﾄ教の諸相7	2	ｷﾘｽﾄ教の諸相8	2
宗教史 1	2	宗教史2	2
宗教史3	2	宗教史4	2
宗教史5	2	宗教史6	2
宗教史7	2	宗教史8	2
哲学 1	2	哲学2	2
哲学3	2	哲学4	2
哲学5	2	哲学6	2
哲学7	2	哲学8	2
倫理学1	2	倫理学2	2
倫理学3	2	倫理学4	2
倫理学5	2	倫理学6	2
倫理学7	2		
論理学1	2	論理学2	2
論理学3	2	論理学4	2
論理学5	2	論理学6	2
論理学7	2	論理学8	2
言語の科学1	2	言語の科学2	2
言語の科学3	2	言語の科学4	2
心理学1	2	心理学2	2
心理学3	2	心理学4	2
心理学5	2	心理学6	2
心理学7	2	心理学8	2
教育学1	2	教育学2	2
芸術学1	2	芸術学2	2
芸術学3	2	芸術学4	2
芸術学5	2	芸術学6	2
芸術学7	2	芸術学8	2
日本文学1	2	日本文学2	2
日本文学3	2	日本文学4	2
日本文学5	2	日本文学6	2
日本文学7	2	日本文学8	2
ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文学1	2	ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文学2	2
ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文学3	2	ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文学4	2
ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文学5	2	ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文学6	2
ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文学7	2	ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文学8	2
ｱｼﾞｱ言語圏の文学1	2	ｱｼﾞｱ言語圏の文学2	2
ｱｼﾞｱ言語圏の文学3	2	ｱｼﾞｱ言語圏の文学4	2
ｱｼﾞｱ言語圏の文学5	2	ｱｼﾞｱ言語圏の文学6	2
ｱｼﾞｱ言語圏の文学7	2	ｱｼﾞｱ言語圏の文学8	2

日本文化論1	2	日本文化論2	2
日本文化論3	2	日本文化論4	2
日本文化論5	2	日本文化論6	2
日本文化論7	2	日本文化論8	2
ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化1	2	ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化2	2
ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化3	2	ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化4	2
ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化5	2	ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化6	2
ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化7	2	ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化8	2
ｱｼﾞｱ言語圏の文化1	2	ｱｼﾞｱ言語圏の文化2	2
ｱｼﾞｱ言語圏の文化3	2	ｱｼﾞｱ言語圏の文化4	2
ｱｼﾞｱ言語圏の文化5	2	ｱｼﾞｱ言語圏の文化6	2
ｱｼﾞｱ言語圏の文化7	2	ｱｼﾞｱ言語圏の文化8	2

2. 社会科学系科目

法学(日本国憲法を含む)1	2	法学(日本国憲法を含む)2	2
政治学1	2	政治学2	2
社会学1	2	社会学2	2
社会学3	2	社会学4	2
社会学5	2	社会学6	2
社会学7	2	社会学8	2
社会福祉学1	2	社会福祉学2	2
経済学1	2	経済学2	2
統計学1	2	統計学2	2
統計学3	2	統計学4	2
歴史学1	2	歴史学2	2
歴史学3	2	歴史学4	2
歴史学5	2	歴史学6	2
歴史学7	2	歴史学8	2
地理学1	2	地理学2	2
地理学3	2	地理学4	2
地理学5	2	地理学6	2
地理学7	2	地理学8	2
文化人類学1	2	文化人類学2	2
社会科学概論1	2	社会科学概論2	2
社会科学概論3	2	社会科学概論4	2

3. 自然科学系科目

数学1	2	数学2	2
数学3	2	数学4	2
数学5	2	数学6	2
数学7	2	数学8	2
物理学1	2	物理学2	2
物理学3	2	物理学4	2
物理学5	2	物理学6	2
化学1	2	化学2	2
化学3	2	化学4	2
生物学1	2	生物学2	2
生物学3	2	生物学4	2

生物学5	2	生物学6	2
生物学7	2	生命科学1	2
生命科学2	2	情報科学1	2
情報科学2	2	情報科学3	2
情報科学4	2		

4. 健康・ｽﾎﾟｰﾂ科学系科目

健康科学1	2	健康科学2	2
ｽﾎﾟｰﾂ科学1	2	ｽﾎﾟｰﾂ科学2	2
ｽﾎﾟｰﾂ方法学1	2	ｽﾎﾟｰﾂ方法学2	2
ｽﾎﾟｰﾂ方法学3	2	ｽﾎﾟｰﾂ方法学4	2

5. 総合教育系科目

現代世界と人間1	2	現代世界と人間2	2
現代世界と人間3	2	現代世界と人間4	2
現代世界と人間5	2	現代世界と人間6	2
現代世界と人間7	2	現代世界と人間8	2
明治学院研究1	2	明治学院研究2	2
明治学院研究3	2		
環境学1	2	環境学2	2
環境学3	2	環境学4	2
環境学5	2	環境学6	2
ボランティア学1	2	ボランティア学2	2
ボランティア学3	2	ボランティア学4	2
ボランティア学5	2	ボランティア学6	2
ボランティア学7	2	ボランティア学8	2
オルガン実習1	2	オルガン実習2	2

［E 群］

1. 外国語特別演習

特別演習ﾌﾗﾝｽ語 A	1	特別演習ﾌﾗﾝｽ語 B	1
特別演習中国語 A	1	特別演習中国語 B	1
特別演習ﾄﾞｲﾂ語 A	1	特別演習ﾄﾞｲﾂ語 B	1
特別演習ｽﾍﾟｲﾝ語 A	1	特別演習ｽﾍﾟｲﾝ語 B	1
特別演習ﾛｼｱ語 A	1	特別演習ﾛｼｱ語 B	1
特別演習韓国語 A	1	特別演習韓国語 B	1

2. 外国語の基礎

ﾌﾗﾝｽ語の基礎 A	1	ﾌﾗﾝｽ語の基礎 B	1
中国語の基礎 A	1	中国語の基礎 B	1
ﾄﾞｲﾂ語の基礎 A	1	ﾄﾞｲﾂ語の基礎 B	1
ｽﾍﾟｲﾝ語の基礎 A	1	ｽﾍﾟｲﾝ語の基礎 B	1
ﾛｼｱ語の基礎 A	1	ﾛｼｱ語の基礎 B	1
韓国語の基礎 A	1	韓国語の基礎 B	1
ｲﾀﾘｱ語の基礎 A	1	ｲﾀﾘｱ語の基礎 B	1
ｱﾗﾋﾞｱ語の基礎 A	1	ｱﾗﾋﾞｱ語の基礎 B	1
ﾀｲ語の基礎 A	1	ﾀｲ語の基礎 B	1

3. 外国語研究

英語研究 1A	2	英語研究 1B	2
英語研究 2A	2	英語研究 2B	2
英語研究 3A	2	英語研究 3B	2
ﾌﾗﾝｽ語研究 1A	2	ﾌﾗﾝｽ語研究 1B	2
ﾌﾗﾝｽ語研究 2A	2	ﾌﾗﾝｽ語研究 2B	2
ﾌﾗﾝｽ語研究 3A	2	ﾌﾗﾝｽ語研究 3B	2
中国語研究 1A	2	中国語研究 1B	2
中国語研究 2A	2	中国語研究 2B	2
中国語研究 3A	2	中国語研究 3B	2
ﾄﾞｲﾂ語研究 1A	2	ﾄﾞｲﾂ語研究 1B	2
ﾄﾞｲﾂ語研究 2A	2	ﾄﾞｲﾂ語研究 2B	2
ﾄﾞｲﾂ語研究 3A	2	ﾄﾞｲﾂ語研究 3B	2
ｽﾍﾟｲﾝ語研究 1A	2	ｽﾍﾟｲﾝ語研究 1B	2
ｽﾍﾟｲﾝ語研究 2A	2	ｽﾍﾟｲﾝ語研究 2B	2
ｽﾍﾟｲﾝ語研究 3A	2	ｽﾍﾟｲﾝ語研究 3B	2
ﾛｼｱ語研究 1A	2	ﾛｼｱ語研究 1B	2
ﾛｼｱ語研究 2A	2	ﾛｼｱ語研究 2B	2
ﾛｼｱ語研究 3A	2	ﾛｼｱ語研究 3B	2
韓国語研究 1A	2	韓国語研究 1B	2
韓国語研究 2A	2	韓国語研究 2B	2
韓国語研究 3A	2	韓国語研究 3B	2
英語特別研究 101	2	英語特別研究 102	2
英語特別研究 111	2	英語特別研究 112	2
英語特別研究 113	2	英語特別研究 114	2
英語特別研究 115	2	英語特別研究 116	2
英語特別研究 117	2	英語特別研究 118	2
ﾌﾗﾝｽ語特別研究 111	2	ﾌﾗﾝｽ語特別研究 112	2
中国語特別研究 111	2	中国語特別研究 112	2
ドイツ語特別研究 111	2	ドイツ語特別研究 112	2
スペイン語特別研究 111	2	スペイン語特別研究 112	2
韓国語特別研究 111	2	韓国語特別研究 112	2

4. 西洋古典語研究

ｷﾞﾘｼｱ語研究 A	2	ｷﾞﾘｼｱ語研究 B	2
ﾗﾃﾝ語研究 A	2	ﾗﾃﾝ語研究 B	2

5. 留学生関連科目

日本の歴史と文化 A	2	日本の歴史と文化 B	2
日本の社会と政治経済 A	2	日本の社会と政治経済 B	2
日本の科学と技術 A	2	日本の科学と技術 B	2
日本語研究 1A	2	日本語研究 1B	2
日本語研究 2A	2	日本語研究 2B	2
日本語研究 3A	2	日本語研究 3B	2
集中日本語 1	4	集中日本語 2	4
集中日本語 3	4	集中日本語 4	4
集中日本語 5	4	集中日本語 6	4

6. 異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ研究

異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ研究 A	2	異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ研究 B	2

7. 情報処理関連科目

ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究 1A	2	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究 1B	2
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究 2A	2	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究 2B	2

8. 自然科学関連科目

物理学方法論 A	2	物理学方法論 B	2
化学方法論 A	2	化学方法論 B	2
生物学方法論 A	2	生物学方法論 B	2

9. 健康・ｽﾎﾟｰﾂ科学関連科目

ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究 1A	2	ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究 1B	2
ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究 2A	2	ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究 2B	2
ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究 3A	2	ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究 3B	2

10. 総合教育関連科目

教養原論 A	2	教養原論 B	2
野外地域研究 A	2	野外地域研究 B	2
ﾜｰｸｷｬﾝﾌﾟ A	2	ﾜｰｸｷｬﾝﾌﾟ B	2
ボランティア実習 101	2	ボランティア実習 201	2
ボランティア特別研究 101	2	ボランティア特別研究 102	2
ボランティア特別研究 201	2	ボランティア特別研究 202	2
ｱｶﾃﾞﾐｯｸﾘﾃﾗｼｰ研究1	2	ｱｶﾃﾞﾐｯｸﾘﾃﾗｼｰ研究2	2

11. 特別学科科目

社会学概論 A	2	社会学概論 B	2

12. 短期留学認定科目

ｵｾｱﾆｱ研究	4		
ｱﾒﾘｶ研究	4	ﾖｰﾛｯﾊﾟ研究	4
韓国研究	4	ﾀｲ研究	4
ｽﾍﾟｲﾝ研究	4	中国研究	4
ﾄﾞｲﾂ研究	4	ﾌﾗﾝｽ研究	4
ｲｷﾞﾘｽ研究	4		

[H 群]

ﾘｻｰﾁ&ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ 1A	2	ﾘｻｰﾁ&ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ 1B	2
ﾘｻｰﾁ&ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ 2A	2	ﾘｻｰﾁ&ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ 2B	2
ﾘｻｰﾁ&ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ 3A	2	ﾘｻｰﾁ&ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ 3B	2
ﾘｻｰﾁ&ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ 4A	2	ﾘｻｰﾁ&ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ 4B	2
ﾘｻｰﾁ&ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ 5A	2	ﾘｻｰﾁ&ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ 5B	2
ｱｼﾞｱ・日本研究 A	2	ｱｼﾞｱ・日本研究 B	2
ﾖｰﾛｯﾊﾟ文化圏研究 A	2	ﾖｰﾛｯﾊﾟ文化圏研究 B	2
現代科学研究 A	2	現代科学研究 B	2

[I 群]

Japanese Arts and Culture 1	2	Japanese Arts and Culture 2	2
Japanese Arts and Culture 3	2	Japanese Arts and Culture 4	2

Japanese Arts and Culture 5	2	Japanese Arts and Culture 6	2
Japanese History 1	2	Japanese History 2	2
Japanese History 3	2	Japanese History 4	2
Japanese History 5	2	Japanese History 6	2
Japanese Society 1	2	Japanese Society 2	2
Japanese Society 3	2	Japanese Society 4	2
Japanese Society 5	2	Japanese Society 6	2
Multilingualism and Multiculturalism 1		2	
Multilingualism and Multiculturalism 2		2	
Multilingualism and Multiculturalism 3		2	
Multilingualism and Multiculturalism 4		2	
Current Issues 1	2	Current Issues 2	2
Current Issues 3	2	Current Issues 4	2

履修の通則

1. 明治学院共通科目は，キリスト教の基礎A2単位およびキリスト教の基礎B2単位を含み，学部学科が定める卒業要件単位を取得しなければならない。
2. 明治学院共通科目(外国語科目)は，必修8単位を含み，各学部学科が定める卒業要件単位を取得しなければならない。
3. 外国人留学生のために，明治学院共通科目に留学生科目を置く。これらの科目の履修は外国人留学生に限る。ただし，国際学部については，外国人留学生に加え，学科で必要と認めた学生についてはこれらの科目の履修を可とする。

文学部学科科目

英文学科

学科基礎科目

イギリス文学入門	2(必)	アメリカ文学入門	2(必)
英語学入門	2(必)	○イギリス文学概論A	2
○イギリス文学概論B	2	○アメリカ文学概論A	2
○アメリカ文学概論B	2	○英語学概論A	2
○英語学概論B	2		

英語基礎科目

*基礎演習1	2	*基礎演習2	2
*Reading A	1	*Reading B	1
*英文法A	1	*英文法B	1
*Writing A	1	*Writing B	1
*Listening and Pronunciation A	1	*Listening and Pronunciation B	1
*Academic Reading A	1	*Academic Reading B	1
*Academic Writing A	1	*Academic Writing B	1
*Listening and Speaking A	1	*Listening and Speaking B	1

*は必修科目

英語発展科目A群

英語文章読解法A	2	英語文章読解法B	2
英語文章作成法A	2	英語文章作成法B	2

英語オーラルコミュニケーションA	2	英語オーラルコミュニケーションB	2

イギリス文学コース科目

イギリス詩A	2	イギリス詩B	2
イギリス小説A	2	イギリス小説B	2
イギリス演劇A	2	イギリス演劇B	2
イギリス文学史A	2	イギリス文学史B	2
イギリス文学批評A	2	イギリス文学批評B	2
イギリス文学特講A	2	イギリス文学特講B	2
イギリス文化研究A	2	イギリス文化研究B	2
○Topics in British Culture A	2	○Topics in British Culture B	2

アメリカ文学コース科目

アメリカ詩A	2	アメリカ詩B	2
アメリカ小説A	2	アメリカ小説B	2
アメリカ演劇A	2	アメリカ演劇B	2
アメリカ文学史A	2	アメリカ文学史B	2
アメリカ文学批評A	2	アメリカ文学批評B	2
アメリカ文学特講A	2	アメリカ文学特講B	2
アメリカ文化研究A	2	アメリカ文化研究B	2
○Topics in American Culture A	2	○Topics in American Culture B	2

英語学コース科目

音声学A	2	音声学B	2
英語史A	2	英語史B	2
音韻論A	2	音韻論B	2
統語論A	2	統語論B	2
意味論A	2	意味論B	2
語用論A	2	語用論B	2
社会言語学A	2	社会言語学B	2
心理言語学A	2	心理言語学B	2
英語学特講A	2	英語学特講B	2
○Topics in Linguistics A	2	○Topics in Linguistics B	2

関連部門

英米宗教文学A	2	英米宗教文学B	2
英語聖書A	2	英語聖書B	2
英米児童文学A	2	英米児童文学B	2
イギリス研究A	2	イギリス研究B	2
アメリカ研究A	2	アメリカ研究B	2
Intercultural Communication A	2	Intercultural Communication B	2

英語発展科目B群

Business English A	2	Business English B	2
翻訳技法A	2	翻訳技法B	2

通訳技法A	2	通訳技法B	2
*Academic English Skills A	2	*Academic English Skills B	2
Advanced Academic Writing	2		

*は必修科目

英語教育科目

英語教授法 1A	2	英語教授法 1B	2
英語教授法 2A	2	英語教授法 2B	2
英語教授法理論 1A	2	英語教授法理論 1B	2
英語教授法理論 2A	2	英語教授法理論 2B	2
Technology and Language Learning		2	

専門演習科目

イギリス文学3年次演習	2(必)	イギリス文学4年次演習	2(必)
アメリカ文学3年次演習	2(必)	アメリカ文学4年次演習	2(必)
英語学3年次演習	2(必)	英語学4年次演習	2(必)

卒業論文

卒業論文　6

文学部共通科目

日本文学(専)A	2	日本文学(専)B	2
中国文学A	2	中国文学B	2
ドイツ文学A	2	ドイツ文学B	2
西洋文学A	2	西洋文学B	2
異文化理解1	2	異文化理解2	2
異文化理解3	2	異文化理解4	2
哲学(専)1	2	哲学(専)2	2
言語学A	2	言語学B	2
ギリシャ語1A	2	ギリシャ語1B	2
ギリシャ語2A	2	ギリシャ語2B	2
ラテン語1A	2	ラテン語1B	2
ラテン語2A	2	ラテン語2B	2
西洋美術史A	2	西洋美術史B	2
西洋音楽史A	2	西洋音楽史B	2
小説技法A	2	小説技法B	2
翻訳論A	2	翻訳論B	2
文化史A	2	文化史B	2
民俗学A	2	民俗学B	2

注　(必)印は必修科目とする。○印は選択必修科目とする。

卒業要件:

1. 卒業するためには、キリスト教基本科目 4 単位、初習語 8 単位、コンピュータリテラシー2 単位を含め、明治学院共通科目 38 単位以上、必修を含めた学科科目を 92 単位以上、総合計 130 単位を取得することが必要である。
2. 明治学院共通科目と学科科目の内訳は次の通りとする。

明治学院共通科目

必修　14 単位

（キリスト教の基礎A2単位、キリスト教の基礎B2単位、外国語〈英語以外の外国語〉8単位、コンピュータリテラシー2単位）

選択　24 単位

学科科目

必修　40 単位

選択　52 単位

（別に定める文学部他学科の学科科目・教職に関する科目から 16 単位まで含めることができる。）

フランス文学科

基礎科目

フランス文学概論A	2(必)	フランス文学概論B	2(必)
フランス史A	2(必)	フランス史B	2(必)
フランス文学史A	2(必)	フランス文学史B	2(必)
特殊研究A	2(必)	特殊研究B	2(必)
フランス研究A	2	フランス研究B	2

フランス語科目

仏語演習1	4(必)	仏語演習2	2(必)
Exercices Pratiques 1A	1(必)	Exercices Pratiques 1B	1(必)
Exercices Pratiques 2A	1(必)	Exercices Pratiques 2B	1(必)
フランス語表現法1A	1(必)	フランス語表現法1B	1(必)
○フランス語表現法2A	1	○フランス語表現法2B	1
○Travaux Pratiques 1A	1	○Travaux Pratiques 1B	1
○Travaux Pratiques 2A	1	○Travaux Pratiques 2B	1
○仏語研究A	1	○仏語研究B	1
DFフランス語	1	PCフランス語	2
仏会話1A	1	仏会話1B	1
仏会話2A	1	仏会話2B	1
応用フランス語A	1	応用フランス語B	1

（フランス語科目のうち、○を付した科目から2科目選択必修）

文学・言語論科目

○中世・ルネサンス文学A	2	○中世・ルネサンス文学B	2
○古典期フランス文学A	2	○古典期フランス文学B	2
○近代フランス文学A	2	○近代フランス文学B	2
○現代フランス文学A	2	○現代フランス文学B	2
○表象メディア論A	2	○表象メディア論B	2
○言語変容論A	2	○言語変容論B	2
○現代言語論A	2	○現代言語論B	2
フランス小説A	2	フランス小説B	2
フランス詩・演劇A	2	フランス詩・演劇B	2
フランス思想・批評A	2	フランス思想・批評B	2
フランス文学特殊講義A	2	フランス文学特殊講義B	2

モデルニテ科目

○現代芸術論A	2	○現代芸術論B	2
○現代思想論A	2	○現代思想論B	2
○歴史記述論A	2	○歴史記述論B	2
フランス文化A	2	フランス文化B	2
フランス芸術A	2	フランス芸術B	2
現代翻訳論A	2	現代翻訳論B	2
現代社会論A	2	現代社会論B	2
記号論A	2	記号論B	2

（文学・言語論科目およびモデルニテ科目のうち、○を付した科目から4科目を選択必修）

専門演習

3年次演習	2(必)	4年次演習	2(必)

卒業論文

卒業論文	6(必)

文学部共通科目

日本文学(専)A	2	日本文学(専)B	2
中国文学A	2	中国文学B	2
ドイツ文学A	2	ドイツ文学B	2
西洋文学A	2	西洋文学B	2
異文化理解1	2	異文化理解2	2
異文化理解3	2	異文化理解4	2
哲学(専)1	2	哲学(専)2	2
言語学A	2	言語学B	2
ギリシャ語1A	2	ギリシャ語1B	2
ギリシャ語2A	2	ギリシャ語2B	2
ラテン語1A	2	ラテン語1B	2
ラテン語2A	2	ラテン語2B	2
西洋美術史A	2	西洋美術史B	2
西洋音楽史A	2	西洋音楽史B	2
小説技法A	2	小説技法B	2
翻訳論A	2	翻訳論B	2
文化史A	2	文化史B	2
民俗学A	2	民俗学B	2

注:(必)印は必修科目とする。○印は選択必修科目とする。

卒業要件:

1. 卒業するためには、キリスト教基本科目 4 単位、外国語基本科目 8 単位、情報処理基本科目 2 単位、フランス語研究 8 単位を含め、明治学院共通科目 40 単位以上、必修を含めた学科科目を 68 単位以上、総合計 128 単位を取得することが必要である。
2. 外国語基本科目 8 単位はフランス語 4 単位と英語 4 単位とする。

芸術学科

各系列共通科目

芸術学概論P	2(必)	芸術学概論S	2(必)
キリスト教芸術A	2	キリスト教芸術B	2
美学A	2	美学B	2
マスコミュニケーション論A	2	マスコミュニケーション論B	2
芸術・社会・人間A	2	芸術・社会・人間B	2
環境デザイン史A	2	環境デザイン史B	2
マスカルチャー論A	2	マスカルチャー論B	2
芸術批評論A	2	芸術批評論B	2
卒論ゼミナール	2	卒業論文	6

音楽学系列関係科目

西洋音楽通史P	2(必)	西洋音楽通史S	2(必)
音楽理論演習1	2(必)	音楽理論演習2	2(必)
音楽学基礎演習	2(必)	○原書演習A	1
○原書演習B	1	○音楽理論特別演習A	1
○音楽理論特別演習B	1		

(上記○印の4科目のうち、2科目必修。他は選択科目)

音楽学研究1A	2(必)	音楽学研究1B	2(必)
音楽学研究2A	2(必)	音楽学研究2B	2(必)
音楽学特講1A	2	音楽学特講1B	2
音楽学特講2A	2	音楽学特講2B	2
音楽学特講3A	2	音楽学特講3B	2
音楽分析演習	2(必)		
○楽書演習1A	1	○楽書演習1B	1
○楽書演習2A	1	○楽書演習2B	1

(上記○印の4科目のうち、2科目必修。他は選択科目)

音楽学特講4A	2	音楽学特講4B	2
音楽学特講5A	2	音楽学特講5B	2
音楽学特講6A	2	音楽学特講6B	2

映像芸術学系列関係科目

表象論序説P	2(必)	表象論序説S	2(必)
映像基礎研究P	2	映像基礎研究S	2
映画史通説P	2(必)	映画史通説S	2(必)
映像理論演習	2(必)	○外国映画研究1A	2
○外国映画研究1B	2	○外国映画研究2A	2
○外国映画研究2B	2	○日本映画研究1A	2
○日本映画研究1B	2	○日本映画研究2A	2
○日本映画研究2B	2		

(上記○印の8科目のうち、4科目必修。他は選択科目)

○映像学原書講読1A	1	○映像学原書講読1B	1
○映像学原書講読2A	1	○映像学原書講読2B	1

(上記○印の4科目のうち、2科目必修。他は選択科目)

写真史・写真理論研究A	2	写真史・写真理論研究B	2
ヴィデオ芸術論A	2	ヴィデオ芸術論B	2
○映像芸術学演習1	2	○映像芸術学演習2	2

○映像芸術学演習3　2
（上記○印の3科目のうち、2科目必修。他は選択科目）

映画芸術史特講1A	2	映画芸術史特講1B	2
映画芸術史特講2A	2	映画芸術史特講2B	2
映画芸術史特講3A	2	映画芸術史特講3B	2

美術史学系列関係科目

西洋美術通史P	2（必）	西洋美術通史S	2（必）
日本・東洋美術通史P	2（必）	日本・東洋美術通史S	2（必）
デッサンA	1（必）	デッサンB	1（必）
○西洋美術史資料講読1A	1	○西洋美術史資料講読1B	1
○西洋美術史資料講読2A	1	○西洋美術史資料講読2B	1
○日本・東洋美術史資料講読A	1	○日本・東洋美術史資料講読B	1

（上記○印の6科目のうち、2科目必修。他は選択科目）

○西洋美術史研究1A	2	○西洋美術史研究1B	2
○西洋美術史研究2A	2	○西洋美術史研究2B	2
○日本・東洋美術史研究A	2	○日本・東洋美術史研究B	2

（上記○印の6科目のうち、4科目必修。他は選択科目）

○西洋美術史演習1	2	○西洋美術史演習2	2
○日本・東洋美術史演習	2		

（上記○印の3科目のうち、2科目必修。他は選択科目）

現代美術論A	2	現代美術論B	2
美術史の理論と方法A	2	美術史の理論と方法B	2
西洋美術史特講A	2	西洋美術史特講B	2
日本美術史特講1A	2	日本美術史特講1B	2
日本美術史特講2A	2	日本美術史特講2B	2
西洋中世・近世美術史A	2	西洋中世・近世美術史B	2
日本近代美術史A	2	日本近代美術史B	2

芸術メディア系列関係科目

メディア論序説P	2（必）	メディア論序説S	2（必）
身体表現論概説P	2（必）	身体表現論概説S	2（必）
芸術メディア論特別演習	2（必）		

○芸術メディア論演習1A	1	○芸術メディア論演習1B	1
○芸術メディア論演習2A	1	○芸術メディア論演習2B	1
○芸術メディア論演習3A	1	○芸術メディア論演習3B	1

（上記○印の6科目のうち、2科目必修。他は選択科目）

○演劇学A	2	○演劇学B	2
○パフォーマンス理論A	2	○パフォーマンス理論B	2
○バレエ研究A	2	○バレエ研究B	2
○デジタルアート論1A	2	○デジタルアート論1B	2
○デジタルアート論2A	2	○デジタルアート論2B	2
○舞台芸術論A	2	○舞台芸術論B	2
○メディア文化論A	2	○メディア文化論B	2

（上記○印の14科目のうち、5科目必修。他は選択科目）

○テクスト講読1A	1	○テクスト講読1B	1

○テクスト講読2A	1	○テクスト講読2B	1
○テクスト講読3A	1	○テクスト講読3B	1

（上記○印の6科目のうち、2科目必修。他は選択科目）

博物館学芸員課程関係科目

博物館概論	2	博物館学各論A	2
博物館学各論B	2	教育論概論A	2
教育論概論B	2	生涯学習概論	2
視聴覚教育メディア論A	2	視聴覚教育メディア論B	2
博物館実習	3	美術史	4

文学部共通科目

日本文学(専)A	2	日本文学(専)B	2
中国文学A	2	中国文学B	2
ドイツ文学A	2	ドイツ文学B	2
西洋文学A	2	西洋文学B	2
異文化理解1	2	異文化理解2	2
異文化理解3	2	異文化理解4	2
哲学(専)1	2	哲学(専)2	2
言語学A	2	言語学B	2
ギリシア語1A	2	ギリシア語1B	2
ギリシア語2A	2	ギリシア語2B	2
ラテン語1A	2	ラテン語1B	2
ラテン語2A	2	ラテン語2B	2
西洋美術史A	2	西洋美術史B	2
西洋音楽史A	2	西洋音楽史B	2
小説技法A	2	小説技法B	2
翻訳論A	2	翻訳論B	2
文化史A(注1)	2	文化史B(注1)	2
民俗学A(注1)	2	民俗学B(注1)	2

注1：博物館学芸員の資格を取得する学生は、これを選択科目として履修することができる。

卒業要件:

以下の 3 項目、合計 126 単位を取得しなければならない。

1. 明治学院共通科目 26 単位(キリスト教基本科目 4 単位、コンピュータリテラシー2 単位、外国語科目 12 単位(英語 4 単位、初習語 8 単位)を含む)
2. 明治学院共通科目および学科科目からの選択 24 単位
3. 学科科目　　必修 36 単位、選択 40 単位(文学部共通科目と別に定める文学部他学科の学科科目を合わせて 16 単位まで含めることができる)、合わせて 76 単位

心理学科

基礎科目

心理学概論A	2(必)	心理学概論B	2(必)
心理学研究法A	2(必)	心理学研究法B	2(必)
心理学実験A	2(必)	心理学実験B	2(必)

基礎統計学A	2(必)	基礎統計学B	2(必)
情報処理概説A	2	情報処理概説B	2
社会学概論A	2	社会学概論B	2
社会福祉学概論A	2	社会福祉学概論B	2
心理学英語講読A	2	心理学英語講読B	2
心理統計法A	2	心理統計法B	2
教育心理学概論A(注1)	2	教育心理学概論B(注1)	2
人間論	4		

(必)印は必修科目である。

(注1)教職に関する科目「発達と学習の心理学」1科目の代りにこの2科目を修得してもよい。

概論科目

基礎領域

認知心理学概論A	2	認知心理学概論B	2
発達心理学概論A	2	発達心理学概論B	2
社会心理学概論A	2	社会心理学概論B	2

同一名称科目のA・B両方(4単位)を2組以上履修し、計4科目(8単位)以上を取得すること。

応用領域

臨床心理学概論A	2	臨床心理学概論B	2
カウンセリング心理学概論A	2	カウンセリング心理学概論B	2
障害児・者心理学概論A	2	障害児・者心理学概論B	2

同一名称科目のA・B両方(4単位)を2組以上履修し、計4科目(8単位)以上を取得すること。

専門科目

講義科目

臨床心理学分野

臨床心理学特講1 (精神分析療法)	2	臨床心理学特講2 (クライエント中心療法)	2
臨床心理学特講3 (認知行動療法)	2	臨床心理面接特講1 (心理面接の理論と倫理)	2
臨床心理面接特講2 (心理面接の技法)	2	心理アセスメント特講1 (心理アセスメントの理論)	2
心理アセスメント特講2 (心理アセスメントの実際)	2	心理療法特講1(論理療法)	2
心理療法特講2(家族療法)	2	心理療法特講3(遊戯療法)	2
心理療法特講4(その他)	2	精神医学	2
犯罪心理学	2	心身医学	2
健康心理学	2		

カウンセリング心理学分野

カウンセリング特講1 (カウンセリングの諸理論)	2	カウンセリング特講2 (コミュニティカウンセリング)	2
カウンセリング特講3 (医療・看護カウンセリング)	2	カウンセリング特講4 (産業カウンセリング)	2
カウンセリング特講5	2	学校カウンセリング総論	2

（非行・矯正カウンセリング）		（理論と実際）	
学校カウンセリング特講1 （学校心理学）	2	学校カウンセリング特講2 （教育相談の理論と実際）	2
学校カウンセリング特講3 （グループ・アプローチ）	2	生徒指導・進路指導	2
異文化間心理学	2		
障害児心理学分野			
障害児心理学特講1 （コミュニケーション）	2	障害児心理学特講2（行動）	2
障害児心理学特講3（学習）	2	障害児医学総論1	2
障害児医学総論2	2	障害児教育学総論1	2
障害児教育学総論2	2	障害児教育学特講1 （教育課程）	2
障害児教育学特講2 （指導法）	2	障害児教育相談とアセスメント	2
障害児・者と社会	2		
実験・発達・社会心理学分野			
実験心理学特講1 （学習心理学）	2	実験心理学特講2 （生理心理学）	2
実験心理学特講3 （感覚・知覚心理学）	2	発達心理学特講1 （幼児・児童心理学）	2
発達心理学特講2 （青年心理学）	2	発達心理学特講3 （老年心理学）	2
社会心理学特講1 （パーソナリティ心理学）	2	社会心理学特講2 （グループ・ダイナミックス）	2
社会心理学特講3A （応用心理統計法A）	2	社会心理学特講3B （応用心理統計法B）	2
実習科目			
心理実験法実習1	2	心理実験法実習2	2
心理観察法実習	2	心理検査法実習	2
心理調査法実習	2	臨床心理実習A	1
臨床心理実習B	1	カウンセリング実習A	1
カウンセリング実習B	1	障害児基礎実習A	2
障害児基礎実習B	2	障害児実習A	2
障害児実習B	2	養護学校教育実習	3
演習科目			
認知心理学演習1	2	認知心理学演習2	2
社会心理学演習1	2	社会心理学演習2	2
発達心理学演習1	2	発達心理学演習2	2
パーソナリティ心理学演習1	2	パーソナリティ心理学演習2	2
臨床精神医学演習1	2	臨床精神医学演習2	2
臨床心理学演習1	2	臨床心理学演習2	2
心理臨床動作学演習1	2	心理臨床動作学演習2	2
カウンセリング演習1	2	カウンセリング演習2	2
障害児心理学演習1	2	障害児心理学演習2	2

障害児教育学演習1	2	障害児教育学演習2	2
障害児医学演習1	2	障害児医学演習2	2

卒業論文

卒業論文	6

文学部他学科共通科目

日本文学(専)A	2	日本文学(専)B	2
中国文学A	2	中国文学B	2
ドイツ文学A	2	ドイツ文学B	2
西洋文学A	2	西洋文学B	2
異文化理解1	2	異文化理解2	2
異文化理解3	2	異文化理解4	2
哲学(専)1	2	哲学(専)2	2
言語学A	2	言語学B	2
ギリシャ語1A	2	ギリシャ語1B	2
ギリシャ語2A	2	ギリシャ語2B	2
ラテン語1A	2	ラテン語1B	2
ラテン語2A	2	ラテン語2B	2
西洋美術史A	2	西洋美術史B	2
西洋音楽史A	2	西洋音楽史B	2
小説技法A	2	小説技法B	2
翻訳論A	2	翻訳論B	2
文化史A	2	文化史B	2
民俗学A	2	民俗学B	2

教職関連科目

日本史1	2	日本史2	2
世界史1	2	世界史2	2
地誌概説1	2	地誌概説2	2
地理学概論1	2	地理学概論2	2
憲法A	2	憲法B	2
民法A	2	民法B	2
国際政治学A	2	国際政治学B	2
地方政治概論A	2	地方政治概論B	2
イギリス研究A	2	イギリス研究B	2
労働法A	2	労働法B	2
政治理論A	2	政治理論B	2
宗教学概論1	2	宗教学概論2	2

卒業要件:以下の3項目、合計124単位を取得しなければならない。

1. 全学共通科目　24単位（キリスト教基本科目4単位・外国語科目1言語8単位を含む）
2. 学科科目　62単位（必修12単位・選択必修16単位・選択34単位）
3. フリーゾーン　38単位（全学共通科目および学科科目から選択）

合計　124 単位

文学部第二部学科科目

英文学科

学科基礎科目

イギリス文学入門	2(必)	アメリカ文学入門	2(必)
英語学入門	2(必)	○イギリス文学概論A	2
○イギリス文学概論B	2	○アメリカ文学概論A	2
○アメリカ文学概論B	2	○英語学概論A	2
○英語学概論B	2		

英語基礎科目

基礎演習1	2(必)	基礎演習2	2(必)
Reading1A	1(必)	Reading1B	1(必)
Reading2A	1(必)	Reading2B	1(必)
英文法A	1(必)	英文法B	1(必)
Conversation 1A	1(必)	Conversation 1B	1(必)
Conversation 2A	1(必)	Conversation 2B	1(必)
Writing 1A	1(必)	Writing 1B	1(必)
Writing 2A	1(必)	Writing 2B	1(必)
Listening 1A	1(必)	Listening 1B	1(必)
Listening 2A	1(必)	Listening 2B	1(必)

英語発展科目A群

英語文章読解法A	2	英語文章読解法B	2
英語文章作成法A	2	英語文章作成法B	2
英語オーラルコミュニケーション A	2	英語オーラルコミュニケーションB	2
英語聴取理解法			

イギリス文学コース科目

イギリス詩A	2	イギリス詩B	2
イギリス小説A	2	イギリス小説B	2
イギリス演劇A	2	イギリス演劇B	2
イギリス文学史A	2	イギリス文学史B	2
イギリス文学批評A	2	イギリス文学批評B	2
イギリス文学特講A	2	イギリス文学特講B	2
イギリス文化研究A	2	イギリス文化研究B	2
○Topics in British Culture A	2	○Topics in British Culture B	2

アメリカ文学コース科目

アメリカ詩A	2	アメリカ詩B	2
アメリカ小説A	2	アメリカ小説B	2
アメリカ演劇A	2	アメリカ演劇B	2
アメリカ文学史A	2	アメリカ文学史B	2
アメリカ文学批評A	2	アメリカ文学批評B	2
アメリカ文学特講A	2	アメリカ文学特講B	2
アメリカ文化研究A	2	アメリカ文化研究B	2
○Topics in American Culture A	2	○Topics in American Culture B	2

英語学コース科目

音声学A	2	音声学B	2

英語史A	2	英語史B	2
音韻論A	2	音韻論B	2
統語論A	2	統語論B	2
意味論A	2	意味論B	2
語用論A	2	語用論B	2
社会言語学A	2	社会言語学B	2
心理言語学A	2	心理言語学B	2
神経言語学A	2	神経言語学B	2
英語学特講A	2	英語学特講B	2
○Topics in Linguistics A	2	○Topics in Linguistics B	2

関連部門

英米宗教文学A	2	英米宗教文学B	2
英語聖書A	2	英語聖書B	2
英米児童文学A	2	英米児童文学B	2
イギリス研究A	2	イギリス研究B	2
アメリカ研究A	2	アメリカ研究B	2
Intercultural Communication A	2	Intercultural Communication B	2

英語発展科目B群

Speed Reading A	2	Speed Reading B	2
Discussion A	2	Discussion B	2
Debate A	2	Debate B	2
Public Speaking A	2	Public Speaking B	2
Business English A	2	Business English B	2
Media English A	2	Media English B	2
翻訳技法A	2	翻訳技法B	2
通訳技法A	2	通訳技法B	2
Academic Writing	2	Computers and Communication	2

専門演習科目

イギリス文学		アメリカ文学	
3年次演習	2(必)	3年次演習	2(必)
英語学		イギリス文学	
3年次演習	2(必)	4年次演習	2(必)
アメリカ文学		英語学	
4年次演習	2(必)	4年次演習	2(必)

卒業論文

卒業論文	6

文学部共通部門

日本文学(専)A	2	日本文学(専)B	2
中国文学A	2	中国文学B	2
ドイツ文学A	2	ドイツ文学B	2
西洋文学A	2	西洋文学B	2
異文化理解1	2	異文化理解2	2
異文化理解3	2	異文化理解4	2

哲学(専)1	2	哲学(専)2	2
言語学A	2	言語学B	2
ギリシャ語1A	2	ギリシャ語1B	2
ギリシャ語2A	2	ギリシャ語2B	2
ラテン語1A	2	ラテン語1B	2
ラテン語2A	2	ラテン語2B	2
西洋美術史A	2	西洋美術史B	2
西洋音楽史A	2	西洋音楽史B	2
小説技法A	2	小説技法B	2
翻訳論A	2	翻訳論B	2
文化史A	2	文化史B	2
民俗学A	2	民俗学B	2

注 (必)印は必修科目とする。○印は選択必修科目とする。

卒業要件:

1. 卒業するためには、キリスト教基本科目 4 単位、初習語 8 単位、コンピュータリテラシー2 単位を含め、明治学院共通科目 38 単位以上、必修を含めた学科科目を 92 単位以上、総合計 130 単位を取得することが必要である。
2. 明治学院共通科目と学科科目の内訳は次の通りとする。

明治学院共通科目

必修 14 単位

(キリスト教の基礎A2単位、キリスト教の基礎B2単位、外国語〈英語以外の外国語〉8単位、コンピュータリテラシー2単位)

選択 24 単位

学科科目

必修 44 単位

選択 48 単位

(別に定める文学部他学科の学科科目・教職に関する科目から 16 単位まで含めることができる。)

経済学部学科科目

経済学科

公共政策専攻科目

1. 基礎科目

ミクロ経済学入門	2	マクロ経済学入門	2
コンピュータ概論1	2	コンピュータ概論2	2

2. 経済理論

初級ミクロ経済学1	2	初級ミクロ経済学2	2
初級マクロ経済学1	2	初級マクロ経済学2	2
中級ミクロ経済学1	2	中級ミクロ経済学2	2
中級マクロ経済学1	2	中級マクロ経済学2	2
応用ミクロ経済学1	2	応用ミクロ経済学2	2
応用マクロ経済学1	2	応用マクロ経済学2	2
経済学史1	2	経済学史2	2
比較経済思想史1	2	比較経済思想史2	2

3. 公共政策

ミクロ経済政策	2	マクロ経済政策	2
公共経済学1	2	公共経済学2	2
財政学1	2	財政学2	2
地方財政論1	2	地方財政論2	2
金融論1	2	金融論2	2
社会政策論1	2	社会政策論2	2
農業政策論1	2	農業政策論2	2
公共政策論1	2	公共政策論2	2
厚生経済学1	2	厚生経済学2	2
応用計量経済分析A	2	応用計量経済分析B	2
公共政策特講1	2	公共政策特講2	2

4. 応用経済学

経済発展論1	2	経済発展論2	2
労働経済論1	2	労働経済論2	2
産業組織論1	2	産業組織論2	2
国際経済学1	2	国際経済学2	2
国際金融論1	2	国際金融論2	2
環境の経済学1	2	環境の経済学2	2
都市の経済学1	2	都市の経済学2	2
ファイナンス1	2	ファイナンス2	2
人口論1	2	人口論2	2
フィールド・スタディA	2	フィールド・スタディB	2
フィールド・スタディC	2	フィールド・スタディD	2
フィールド・スタディE	2	フィールド・スタディF	2
事例研究A	2	事例研究B	2
事例研究C	2	事例研究D	2
事例研究E	2	事例研究F	2

5. 演習・卒業論文

経済学演習 1	2	経済学演習 2	2
経済学特講 1	2	経済学特講 2	2
演習A1	2	演習A2	2
演習A3	2	演習A4	2
演習B1	2	演習B2	2
卒業論文	4		

世界経済専攻科目

1. 基礎科目

世界の経済1	2	世界の経済2	2
コンピュータ概論1	2	コンピュータ概論2	2

2. フィールド・スタディ

フィールド・スタディA	2	フィールド・スタディB	2
フィールド・スタディC	2	フィールド・スタディD	2
フィールド・スタディE	2	フィールド・スタディF	2
社会参加実習1	2	社会参加実習2	2

3. 事例研究

事例研究A	2	事例研究B	2
事例研究C	2	事例研究D	2
事例研究E	2	事例研究F	2

4. 国際経済の理論と実際

日本経済論1	2	日本経済論2	2
中国経済論	2	アジア経済論	2
アメリカ経済論1	2	アメリカ経済論2	2
ヨーロッパ経済論1	2	ヨーロッパ経済論2	2
比較経済制度論1	2	比較経済制度論2	2
国際経済学1	2	国際経済学2	2
国際金融論1	2	国際金融論2	2
経済発展論1	2	経済発展論2	2
国際経済特講1	2	国際経済特講2	2
5. 経済社会と経済思想の歴史			
入門経済史1	2	入門経済史2	2
キリスト教と経済	2	現代西洋経済史1	2
現代西洋経済史2	2	日本経済史1	2
日本経済史2	2	現代日本経済史1	2
現代日本経済史2	2	西洋経済史1	2
西洋経済史2	2	アジア経済史1	2
アジア経済史2	2	経済学史1	2
経済学史2	2	比較経済思想史1	2
比較経済思想史2	2	古典・資料研究1	2
古典・資料研究2	2	経済史特講1	2
経済史特講2	2		
6. 市場・組織・制度の経済学			
消費の理論	2	企業の理論	2
貨幣経済の理論	2	経済成長の理論	2
産業組織論1	2	産業組織論2	2
社会政策論1	2	社会政策論2	2
労働経済論1	2	労働経済論2	2
厚生経済学1	2	厚生経済学2	2
環境の経済学1	2	環境の経済学2	2
都市の経済学1	2	都市の経済学2	2
人口論1	2	人口論2	2
現代経済特講1	2	現代経済特講2	2
7. 演習・卒業論文			
演習A1	2	演習A2	2
演習A3	2	演習A4	2
演習B1	2	演習B2	2
卒業論文	4		
8. 専門外国語			
経済英語1	1	経済英語2	1
経済事情（英語）1	2	経済事情（英語）2	2
経済事情（中国語）1	2	経済事情（中国語）2	2

経済学科共通科目

基礎数学1	2	基礎数学2	2
経済統計学1	2	経済統計学2	2
入門経済数学1	2	入門経済数学2	2
計量経済学1	2	計量経済学2	2

予測と時系列1	2	予測と時系列2	2
経済数学1	2	経済数学2	2
情報数理特講1	2	情報数理特講2	2
ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ(講義)	2	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ(実習)	2
応用コンピュータ概論	2		

隣接領域科目群

A. 経営学・商学・会計学科目

（1） 経営学科のA群科目・B群科目（基礎演習を除く）の全科目、及び基礎科目のうち簿記1・2

（2） 国際経営学科科目（基礎科目・基礎演習およびビジネス外国語を除く）の全科目

B. 法学・政治学・消費情報環境法学科目

民法A	2	民法B	2
商法A	2	商法B	2
現代政治理論1A	2	現代政治理論1B	2
憲法A	2	憲法B	2
行政法A	2	行政法B	2
競争法1	2	競争法2	2
労働法A	2	労働法B	2
国際法1A	2	国際法1B	2
国際法2A	2	国際法2B	2
国際政治学A	2	国際政治学B	2
国際消費者法	2	環境政策と法	2
金融商品取引法	2	グローバル企業法	2
国際環境法1	2		

C. 社会学・社会福祉学科目

地域社会論	2	都市と地域の社会学	2
産業社会学A	2	産業社会学B	2
社会保障論A	2	社会保障論B	2

D. 教職関連科目

日本史1	2	日本史2	2
世界史1	2	世界史2	2
地理学概論1	2	地理学概論2	2
自然地理学1	2	自然地理学2	2
社会人類学A	2	社会人類学B	2
地誌概説1	2	地誌概説2	2
宗教学概論1	2	宗教学概論2	2
哲学（専）1	2	哲学（専）2	2
職業指導	2		

卒業要件:

経済学科教育課程には二つの専攻コース（公共政策専攻コース、世界経済専攻コース）と一般的な課程があり、それぞれについて卒業要件を定める。

1. 共通の要件

明治学院共通科目、専門教育科目、隣接領域科目、教職関連科目あわせて 128 単位以上取得しなければならない。ただし、教職関連科目は合計 12 単位までを卒業要件に算入することができる。

キリスト教基本科目 4 単位、明治学院共通科目外国語科目から1ないし2言語で8単位以上を取得したうえで、これらを含めて明治学院共通科目を24 単位（世界経済専攻コースは26 単位）以上取得しなければならない。

2. 公共政策専攻コース

ミクロ経済学入門、マクロ経済学入門、初級ミクロ経済学1、初級ミクロ経済学2、初級マクロ経済学1、初級マクロ経済学2、経済学演習 1、経済学演習 2 のうちから 12 単位以上、公共政策専攻科目または経済学科共通科目のなかから 60 単位以上取得し、これらを含めて専門教育科目から 76 単位以上取得しなければならない。

3. 世界経済専攻コース

ミクロ経済学入門、マクロ経済学入門、世界の経済1、世界の経済2のうち2科目以上、フィールドスタディA、フィールドスタディB、フィールドスタディC、フィールドスタディD、フィールドスタディE、フィールドスタディFまたは事例研究A、事例研究B、事例研究C、事例研究D、事例研究E、事例研究Fのうち1科目2単位以上、世界経済専攻科目を 52 単位以上、専門外国語・明治学院共通科目の外国語科目（全言語）からあわせて 10 単位以上をそれぞれ取得し、上記の科目を含めて専門教育科目を 76 単位以上取得しなければならない。

4. 一般的な課程

ミクロ経済学入門、マクロ経済学入門、世界の経済1、世界の経済2のうち2科目以上を取得したうえで、専門教育科目を 64 単位以上取得しなければならない。

経営学科

導入科目群

経営学入門	2	マーケティング入門	2
会計学入門	2		

基幹科目群

経済学概論 1	2	経済学概論 2	2
ビジネスのための法律 1	2	ビジネスのための法律 2	2
経営学原理 1	2	経営学原理 2	2
経営組織論 1	2	経営組織論 2	2
マーケティング 1	2	マーケティング 2	2
市場システム 1	2	市場システム 2	2
財務会計論 1	2	財務会計論 2	2
管理会計論 1	2	管理会計論 2	2

演習科目群

データ処理論	2		
簿記 1	2	簿記 2	2
応用簿記	2	工業簿記	2
ビジネス英語 1	2	ビジネス英語 2	2
ワークショップ 1	2	ワークショップ 2	2
演習 A1	2	演習 A2	2
演習 B1	2	演習 B2	2
マーケティング・リサーチ 1	2	マーケティング・リサーチ 2	2
インターンシップ(実習)	2		
演習 A3	2	演習 A4	2
卒業論文	4		

応用科目群

経営史 1	2	経営史 2	2

経営戦略論 1	2	経営戦略論 2	2
情報ネットワーク論 1	2	情報ネットワーク論 2	2
証券論 1	2	証券論 2	2
保険論 1	2	保険論 2	2
経営財務	2	企業分析	2
原価計算論 1	2	原価計算論 2	2
民法A	2	民法B	2
商法A	2	商法B	2
経営学特講	2	環境と社会	2
経営管理論 1	2	経営管理論 2	2
消費者行動 1	2	消費者行動 2	2
商業政策論 1	2	商業政策論 2	2
マーケティング・コミュニケーション 1		2	
マーケティング・コミュニケーション 2		2	
金融論 1	2	金融論 2	2
税務会計 1	2	税務会計 2	2
監査論	2		

隣接領域科目

(1) 国際経営学科科目（基礎演習およびビジネス外国語 A1・A2・B1・B2・B3・B4 を除く）

(2) 経済学科科目（経済学演習1・2を除く）

(3) 他学科科目

憲法A	2	憲法B	2
商法総則	2	商行為法	2
現代政治理論1A	2	現代政治理論1B	2
国際政治学A	2	国際政治学B	2
社会保障論A	2	社会保障論B	2
会社法1	2	会社法2	2
会社法3	2		
Media English A	2	Media English B	2
行政法A	2	行政法B	2
労働法A	2	労働法B	2
租税法1	2	租税法2	2
保険法	2	海商法	2
手形法・小切手法A	2	手形法・小切手法B	2
競争法1	2	競争法2	2
信託法	2		
社会心理学	2	対人関係論	2
産業社会学A	2	産業社会学B	2

教職関連部門

日本史1	2	日本史2	2
世界史1	2	世界史2	2
地理学概論1	2	地理学概論2	2
自然地理学1	2	自然地理学2	2
社会人類学A	2	社会人類学B	2
地誌概説1	2	地誌概説2	2
宗教学概論1	2	宗教学概論2	2

哲学(専)1	2	哲学(専)2	2
職業指導	2		

注:
1. 導入科目群、基幹科目群、演習科目群はすべて選択必修科目である。

卒業要件:
1. 卒業するためには、明治学院共通科目 24 単位以上、学科科目 62 単位以上(導入科目群のなかから 4 単位、基幹科目群のなかから 24 単位、演習科目群のなかから 8 単位、応用科目群のなかから 26 単位)合計 124 単位を取得することが必要である。
2.明治学院共通科目キリスト教基本科目 4 単位は必修とする。
3. 明治学院共通科目必修外国語は、2 言語 8 単位とする。
4. 教職関連科目は教職科目の単位として認定されるものであり、卒業に必要な学科科目の単位としては認定されない。

国際経営学科

基礎科目

ビジネス入門	2	アカウンティング入門	2
貿易入門	2	基礎演習	2
ビジネスのための法律1	2	ビジネスのための法律2	2
経済学概論1	2	経済学概論2	2

専門外国語

ビジネス外国語 A1	2	ビジネス外国語 A2	2
ビジネス外国語 B1	2	ビジネス外国語 B2	2
ビジネス外国語 B3	2	ビジネス外国語 B4	2
TOEFL 集中講座	2		
e-learning 1	2	e-learning 2	2
事前研修	2		
外国書講読1	2	外国書講読2	2
外国書講読3	2	外国書講読4	2

専門科目 I

(Management & Strategy)

ビジネス・オーガニゼーション1	2		
ビジネス・オーガニゼーション2	2		
国際経営論1	2	国際経営論2	2
比較経営学史1	2	比較経営学史2	2
各国経営史論	2		

(Accounting & Finance)

コーポレート・ファイナンス1	2	コーポレート・ファイナンス2	2
財務会計論1	2	財務会計論2	2
海外企業分析	2		

(International Trade)

貿易論1	2	貿易論2	2
貿易実務1	2	貿易実務2	2
Business in Japan 1	2	Business in Japan 2	2

専門科目Ⅱ

(Management & Strategy)

コーポレート・ストラテジー1	2	コーポレート・ストラテジー2	2
ビジネスエシックス	2		
ヒューマン・リソース・マネジメント1	2	ヒューマン・リソース・マネジメント2	2
マネジメント・ストラテジー特講	2		

(Accounting & Finance)

国際会計論1	2	国際会計論2	2
国際税務	2	金融資本市場論	2
マネジメント・アカウンティング	2		
国際金融論1	2	国際金融論2	2
アカウンティング・ファイナンス特講	2		

(International Trade)

グローバル・マーケティング1	2	グローバル・マーケティング2	2
損害保険論	2		
国際物流論1	2	国際物流論2	2
インターナショナル・トレード特講	2		

BCR(Business Communication & Research)

国際研修プログラム	2	国際ボランティアプログラム	2
海外フィールドスタディ	4	インターンシップ(実習)	2
海外ビジネス事情	2	ビジネス・コミュニケーション	2
演習 A1	2	演習 A2	2
演習 A3	2	演習 A4	2
卒業論文	4		
演習 B1	2	演習 B2	2

他学科・他学部科目

(1)経営学科の全科目のすべてが対象となる。ただし、経営学入門、マーケティング入門、会計学入門、データ処理論、ワークショップ1・2を除く。

(2)経済学科の全科目が対象となる。ただし、経済学演習1、経済学演習2を除く。

(3)国際学科・英文学科・法律学科・政治学科・消費環境情報学科・社会学科科目

国際法1A	2	国際法1B	2
国際法2A	2	国際法2B	2
開発経済学	4	企業行動論	4
Media English A	2	Media English B	2
憲法 A	2	憲法 B	2
行政法 A	2	行政法 B	2
労働法 A	2	労働法 B	2
租税法1	2	租税法2	2
保険法	2	海商法	2

信託法	2		
民法Ａ	2	民法Ｂ	2
商法A	2	商法B	2
物権法1	2	物権法2	2
債権総論1	2	債権総論2	2
契約法1	2	契約法2	2
国際消費者法	2	グローバル企業法	2
国際環境法1	2	南北問題	4
多国籍企業論	4		
商法総則	2	商行為法	2
社会心理学	2	対人関係論	2
産業社会学Ａ	2	産業社会学Ｂ	2
競争法1	2	競争法2	2
会社法1	2	会社法2	2
会社法3	2		
手形法・小切手法Ａ	2	手形法・小切手法Ｂ	2
社会保障論Ａ	2	社会保障論Ｂ	2
現代政治理論1A	2	現代政治理論1B	2
国際政治学Ａ	2	国際政治学Ｂ	2

教職関連科目

日本史1	2	日本史2	2
世界史1	2	世界史2	2
地理学概論1	2	地理学概論2	2
自然地理学1	2	自然地理学2	2
社会人類学Ａ	2	社会人類学Ｂ	2
地誌概説1	2	地誌概説2	2
宗教学概論1	2	宗教学概論2	2
職業指導	2		
哲学(専)１	2	哲学(専)２	2

注:

1. 基礎科目はすべて選択必修科目である。
2. 専門外国語、専門科目Ⅰ、専門科目Ⅱ、BCR(Business Research & Communication)は、すべて選択必修科目である。

卒業要件:

1. 卒業するためには、明治学院共通科目24 単位以上、学科科目62単位以上(基礎科目のなかから12 単位、専門外国語のなかから12単位、専門科目Ⅰの3分野からそれぞれ6単位ずつ、専門科目Ⅱのいずれかの分野から4単位、BCRのなかから2単位以上、専門自由選択科目から14単位)合計124 単位を取得することが必要である。
2. 明治学院共通科目キリスト教基本科目４単位は必修とする。
3. 明治学院共通科目必修外国語は2 言語8 単位とする。
4. 教職関連科目は教職科目の単位として認定されるものであり、卒業に必要な学科科目の単位としては認定されない。

経済学部第二部学科科目

経済学科

専門教育科目

1. 基礎科目

入門経済学(ミクロ)	2	入門経済学(マクロ)	2
コンピュータ概論1	2	コンピュータ概論2	2

2. 経済理論と経済政策

ミクロ経済学1	2	ミクロ経済学2	2
マクロ経済学1	2	マクロ経済学2	2
応用ミクロ経済学1	2	応用ミクロ経済学2	2
金融論1	2	金融論2	2
財政学1	2	財政学2	2
地方財政論1	2	地方財政論2	2
公共経済学1	2	公共経済学2	2
農業政策論1	2	農業政策論2	2
産業組織論1	2	産業組織論2	2
社会政策論1	2	社会政策論2	2
公共政策特講1	2	公共政策特講2	2

3. 国際経済の理論と実際

世界の経済1	2	世界の経済2	2
日本経済論1	2	日本経済論2	2
中国経済論	2	アジア経済論	2
アメリカ経済論1	2	アメリカ経済論2	2
比較経済制度論1	2	比較経済制度論2	2
国際経済学1	2	国際経済学2	2
国際金融論1	2	国際金融論2	2
経済発展論1	2	経済発展論2	2
国際経済特講1	2	国際経済特講2	2

4. 経済社会の歴史

入門経済史1	2	入門経済史2	2
日本経済史1	2	日本経済史2	2
西洋経済史1	2	西洋経済史2	2
経済学史1	2	経済学史2	2
経済史特講1	2	経済史特講2	2

5. 現代経済の諸問題

環境の経済学1	2	環境の経済学2	2
都市の経済学1	2	都市の経済学2	2
現代経済特講1	2	現代経済特講2	2

6. 関連科目

第一部経済学科の全学科科目(演習を含む。基礎演習を除く。)

第二部経営学科の全学科科目

隣接領域科目

民法A	2	民法B	2
商法A	2	商法B	2
地域社会論A	2	地域社会論B	2
産業社会学A	2	産業社会学B	2

社会保障論A	2	社会保障論B	2
国際消費者法	2	環境政策と法	2
証券取引法	2	グローバル企業法	2
国際環境法1	2		
現代政治理論1A	2	現代政治理論1B	2
憲法A	2	憲法B	2
行政法A	2	行政法B	2
競争法1	2	競争法2	2
労働法A	2	労働法B	2
国際法1A	2	国際法1B	2
国際法2A	2	国際法2B	2
国際政治学A	2	国際政治学B	2
法思想史A	2	法思想史B	2
法社会学A	2	法社会学B	2
行政学A	2	行政学B	2
政治思想史1A	2	政治思想史1B	2

教職関連科目

職業指導A	2	職業指導B	2
日本史1	2	日本史2	2
世界史1	2	世界史2	2
地理学概論1	2	地理学概論2	2
自然地理学1	2	自然地理学2	2
地誌概説1	2	地誌概説2	2
宗教学概論1	2	宗教学概論2	2
社会人類学A	2	社会人類学B	2
哲学(専)1	2	哲学(専)2	2

卒業要件:

1. 卒業するためには、全学共通科目、専門教育科目、隣接領域科目、教職関連科目あわせて 124 単位以上取得することが必要である。ただし、教職関連科目は合計 12 単位まで卒業要件に算入することができる。
2. キリスト教基本科目4単位、全学共通科目外国語科目から1ないし2言語で8単位以上を取得したうえで、これらを含めて全学共通科目 24 単位以上を取得しなければならない。
3. 専門教育科目および隣接領域科目から 62 単位以上を取得し、そのうち 32 単位以上を専門教育科目の1～5の科目群から取得しなければならない。

経営学科

(1)経営学部門

経営学原理1	2	経営学原理2	2
経営史1	2	経営史2	2
経営学史1	2	経営学史2	2
経営計画論1	2	経営計画論2	2
経営組織論1	2	経営組織論2	2
情報管理論1	2	情報管理論2	2
財務管理論1	2	財務管理論2	2
労務管理論1	2	労務管理論2	2
企業形態論1	2	企業形態論2	2

生産管理論1	2	生産管理論2	2
ビジネス英語1	2	ビジネス英語2	2
ビジネス中国語1	2	ビジネス中国語2	2
情報処理概論(2)1	2	情報処理概論(2)2	2
国際経営論1	2	国際経営論2	2
経営学特講	2		

(2)商学部門

マーケティング管理論1	2	マーケティング管理論2	2
流通論1	2	流通論2	2
貿易論1	2	貿易論2	2
保険論1	2	保険論2	2
商業政策論1	2	商業政策論2	2
消費者行動論1	2	消費者行動論2	2
金融論1	2	金融論2	2
貿易実務論1	2	貿易実務論2	2
国際金融論1	2	国際金融論2	2
広告論1	2	広告論2	2
損害保険論1	2	損害保険論2	2
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ･ﾘｻｰﾁ1	2	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ･ﾘｻｰﾁ2	2
証券論1	2	証券論2	2
商学特講	2		

(3)会計学部門

簿記1	2	簿記2	2
会計学総論1	2	会計学総論2	2
会計史1	2	会計史2	2
会計学基礎論1	2	会計学基礎論2	2
財務会計論1	2	財務会計論2	2
管理会計論1	2	管理会計論2	2
原価計算論1	2	原価計算論2	2
監査論1	2	監査論2	2
会計情報システム論1	2	会計情報システム論2	2
経営分析1	2	経営分析2	2
税務会計1	2	税務会計2	2
コンピュータ会計	2	会計学特講	2

(4)演習・講読部門

演習A1	2	演習A2	2
演習A3	2	演習A4	2
卒業論文	4	原典講読1	2
原典講読1	2	(英・独・仏・中・露)1	
(英・独・仏・中・露)2		原典講読2	2
原典講読2	2	(英・独・仏・中・露)1	
(英・独・仏・中・露)2		外国語講義	2

(5)経済理論・経済史・各国経済論・経済政策部門

第二部経済学科の専門教育科目の全科目(但し、入門経済学(ミクロ)、入門経済学(マクロ)を除く)

(6)法学・政治学・社会学部門

現代政治理論1A	2	現代政治理論1B	2
憲法A	2	憲法B	2
行政法A	2	行政法B	2
労働法A	2	労働法B	2
競争法1	2	競争法2	2
租税法1	2	租税法2	2
保険法	2	海商法	2
信託法	2	民法総則A	2
民法総則B	2	物権法A	2
物権法B	2	債権法1A	2
債権法1B	2	債権法2A	2
債権法2B	2	商法総則	2
商行為法	2	会社法A	2
会社法B	2	手形法・小切手法A	2
手形法・小切手法B	2	社会心理学A	2
社会心理学B	2	産業社会学A	2
産業社会学B	2	社会保障論A	2
社会保障論B	2	国際政治学A	2
国際政治学B	2		

(7)特殊部門

経済学概論1	2	経済学概論2	2
商法A	2	商法B	2
民法A	2	民法B	2
Media English A	2	Media English B	2
哲学(専)1	2	哲学(専)2	2

(8)教職関連部門

職業指導A	2	職業指導B	2
日本史1	2	日本史2	2
世界史1	2	世界史2	2
地理学概論1	2	地理学概論2	2
自然地理学1	2	自然地理学2	2
社会人類学A	2	社会人類学B	2
地誌概説1	2	地誌概説2	2
地方文化比較論	2	宗教学概論1	2
宗教学概論2	2		2

卒業要件:

1. 卒業するためには、全学共通科目 54 単位以上、学科科目 70 単位以上(選択科目(1)32 単位、選択科目(2)38 単位が含まれなければならない)の総合計 124 単位を取得することが必要である。
2. 全学共通科目必修外国語は、1言語 8 単位とする。
3. (8)教職関連部門の科目は、教職科目の単位として認定されるものであり、卒業に必要な学科科目の単位としては認定されない。

社会学部学科科目
社会学科

社会学基幹科目

社会調査の基礎	2	社会調査の技法	2
社会統計学	2		
社会学概論A	2	社会学概論B	2
社会学特講A	2	社会学特講B	2
ジャーナリズム特論A	2	ジャーナリズム特論B	2

コース科目

社会行動論	2	交換の社会学	2
環境社会学	2	地域環境論	2
社会学史	2	現代の社会学	2
地域社会論	2	都市と地域の社会学	2
文化社会論	2	文学社会論	2
比較社会学	2	ｴｽﾆｼﾃｨの社会学	2
社会心理学	2	対人関係論	2
社会的ﾈｯﾄﾜｰｸ論	2	家族社会学	2
犯罪社会学	2	暴力の論理学	2
産業社会学A	2	産業社会学B	2
ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾘｾﾞｰｼｮﾝ論	2
ﾒﾃﾞｨｱ史	2	ﾒﾃﾞｨｱ社会論	2
教育社会学	2	子どもの歴史社会学	2
宗教社会学	2	現代宗教論	2
ｼﾞｪﾝﾀﾞｰの基礎理論	2	生と性をめぐる権力作用	2
開発と健康の社会学	2	医療と身体の人類学	2
生涯学習概論A	2	生涯学習概論B	2
社会倫理学	2	公共政策論	2
技術と人間A	2	技術と人間B	2
政治社会学A	2	政治社会学B	2
社会的相互行為論	2	現代ｺﾐｭﾆﾃｨ論	2
情報社会論A	2	情報社会論B	2
開発社会学A	2	開発社会学B	2
社会人類学A	2	社会人類学B	2

演習・実習科目

基礎演習	2(必)	ﾃｷｽﾄ･ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	2
専門書講読	2	専門書講読(外)	2
ｺｰｽ演習A	2(選択必修)		
ｺｰｽ演習B	2(選択必修)		
ｺｰｽ演習C	2(選択必修)		
演習1	4	社会教育演習1	4
社会調査実習	4	社会教育調査実習	4
社会教育演習2	2	演習2	2
卒業論文	6		
ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ演習	2		
数量ﾃﾞｰﾀ分析	2	質的ﾃﾞｰﾀ分析	2

隣接科目

社会保障論A	2	社会保障論B	2
公的扶助論A	2	公的扶助論B	2
障害者福祉総論	2	知的障害者福祉論	2
児童福祉論A	2	児童福祉論B	2
高齢者福祉論A	2	高齢者福祉論B	2

NPO論	2	地域福祉論A	2
地域福祉論B	2	福祉行財政と福祉計画	2
		社会政策論1	2
社会政策論2	2	身体障害者福祉論	2
共生社会の理解	2	インターンシップ	2
司法福祉論	2	女性福祉論	2
家庭福祉論	2	共生社会の法と人権	2
ソーシャルインクルージョンの政策	2	国際社会保障論	2
法社会学A	2	法社会学B	2
農業政策論1	2	農業政策論2	2
Media English A	2	Media English B	2
Welfare States	2	学校ソーシャルワーク論	2
社会教育主事任用資格関連科目			
社会教育計画A	2	社会教育計画B	2
社会教育課題研究A	2	社会教育課題研究B	2
家庭教育A	2	家庭教育B	2
社会教育行政	2	社会教育施設	2
職業指導	2		
教職課程の教科に関する科目(卒業要件)			
憲法A	2	憲法B	2
民法A	2	民法B	2
経済学概論1	2	経済学概論2	2
労働法A	2	労働法B	2
行政法A	2	行政法B	2
西洋経済史1	2	西洋経済史2	2
西洋法制史1	2	西洋法制史2	2
日本法制史1	2	日本法制史2	2
政治思想史1A	2	政治思想史1B	2
社会福祉法制	2		
近代日本法思想史	2	比較公法史	2
教職課程の教科に関する科目(卒業要件外)			
宗教学概論1	2	宗教学概論2	2
哲学(専)1	2	哲学(専)2	2
現代政治理論1A	2	現代政治理論1B	2
国際政治学A	2	国際政治学B	2
世界史1	2	世界史2	2
日本史1	2	日本史2	2
地理学概論1	2	地理学概論2	2
自然地理学1	2	自然地理学2	2
地誌概説1	2	地誌概説2	2
イギリス研究A	2	イギリス研究B	2
アメリカ研究A	2	アメリカ研究B	2
フランス史A	2	フランス史B	2

注:(必)印は必修科目である。(選択必修)は選択必修科目である。

卒業要件:

1. 卒業に要する総単位数は、明治学院共通科目のうち必修と選択必修科目の 26 単位、自由選択科目

20～30 単位、学科科目は必修と選択必修 4 単位, コース科目 34 単位, 自由選択科目 34 単位を含めて 72～82 単位、総合計 128 単位とする。

2. 明治学院共通科目の必修科目 14 単位のうちの外国語8単位は、英語コミュニケーション1A～2Bの4単位、初習語1A～2Bの4単位を必修とする。
3. 明治学院共通科目の選択必修科目 12 単位は以下の科目群 26 科目 52 単位（社会学1、社会学2、社会科学概論1、社会科学概論2、社会科学概論3、社会科学概論4、地理学1、地理学2、地理学3、地理学4、地理学5、地理学6、地理学7、地理学8、心理学1、心理学2、心理学3、心理学4、心理学5、心理学6、心理学7、心理学8、統計学1、統計学2, 統計学3, 統計学4）から 12 単位を選択必修とする。
4. 教職課程の教科に関する科目（卒業要件外）の科目は教職科目の単位として認定されるものであり、卒業に必要な学科科目の単位としては認定されない。

社会福祉学科

第1群（基礎科目）

社会福祉学概論A	2（必）	社会福祉学概論B	2（必）
ソーシャルワークの理解	2	福祉開発の理解	2
社会福祉史A	2	社会福祉史B	2
福祉開発概論	2	社会福祉調査	2
社会人類学A	2	社会人類学B	2
社会福祉の思想	2	社会政策論1	2
社会政策論2	2		

第2群（制度・政策）

社会保障論A	2	社会保障論B	2
就労支援サービス	2	権利擁護と成年後見制度	2
社会福祉法制	2	国際社会保障論	2
Welfare States	2	公的扶助論A	2
公的扶助論B	2	福祉行財政と福祉計画	2
共生社会の法と人権	2	ソーシャルインクルージョンの政策	2

第3群（対象者理解）

パーソナリティ・デベロップメント論A		2	
パーソナリティ・デベロップメント論B		2	
臨床心理学A	2	臨床心理学B	2
精神保健A	2	精神保健B	2
精神医学A	2	精神医学B	2
医学知識	2		

第4群（方法・技術）

ソーシャルワークの基礎	2		
ソーシャルワーク1A	2	ソーシャルワーク1B	2
ソーシャルワーク2A	2	ソーシャルワーク2B	2
ソーシャルワーク3A	2	ソーシャルワーク3B	2
精神保健福祉援助技術総論A	2	精神保健福祉援助技術総論B	2
医療ソーシャルワーク論	2	介護概論	2
社会福祉運営管理論A	2	社会福祉運営管理論B	2
精神保健福祉援助技術各論A	2	精神保健福祉援助技術各論B	2
学校ソーシャルワーク論	2		

第5群（分野）

障害者福祉総論	2	共生社会の理解	2
児童福祉論A	2	児童福祉論B	2
医療福祉論	2		
高齢者福祉論A	2	高齢者福祉論B	2
精神保健福祉論A	2	精神保健福祉論B	2
身体障害者福祉論	2	知的障害者福祉論	2
精神科ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学A	2	精神科ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学B	2
家庭福祉論	2	女性福祉論	2
地域福祉論A	2	地域福祉論B	2
司法福祉論	2		
第6群（特講）			
社会福祉学特講1	2	社会福祉学特講2	2
社会福祉学特講3	2	社会福祉学特講4	2
社会福祉学特講5A	2	社会福祉学特講5B	2
第7群（実習・演習・卒論）			
基礎演習	2	ソーシャルワーク基礎実習指導	2
福祉開発フィールドワーク	2	ソーシャルワーク演習1A	2
ソーシャルワーク演習1B	2	ソーシャルワーク演習1C	2
ソーシャルワーク演習2	4	精神保健福祉援助演習	2
演習1	2	演習2	2
社会福祉調査実習	4	インターンシップ	2
ソーシャルワーク実習指導A	2	ソーシャルワーク実習指導B	2
ソーシャルワーク実習	4		
精神保健福祉援助実習A	1	精神保健福祉援助実習B	5
精神保健福祉援助発展演習	2	卒業論文	4
第8群（自由科目）			
入門経済史1	2	入門経済史2	2
社会学概論	2	経済学概論1	2
経済学概論2	2	心理学概論	2
民法A	2	民法B	2
憲法A	2	憲法B	2
障害児・者心理学概論A	2	障害児・者心理学概論B	2
障害児医学総論A	2	障害児医学総論B	2
特別支援教育学総論A	2	特別支援教育学総論B	2
病弱教育総論	2		
Media English A	2	Media English B	2
地域社会論	2	都市と地域の社会学	2
文化社会論	2	文学社会論	2
技術と人間A	2	技術と人間B	2
社会倫理学	2	公共政策論	2
社会心理学	2	対人関係論	2
家族社会学	2	社会的ﾈｯﾄﾜｰｸ論	2
犯罪社会学	2	暴力の論理学	2
ｼﾞｪﾝﾀﾞｰの基礎理論	2	生と性をめぐる権力作用	2
産業社会学A	2	産業社会学B	2
環境社会学	2	地域環境論	2
開発と健康の社会学	2	医療と身体の人類学	2
社会行動論	2	交換の社会学	2

比較社会学	2	ｴｽﾆｼﾃｨの社会学	2
職業指導	2	NPO論	2
専門外国書講読A	2	専門外国書講読B	2
行政法A	2	行政法B	2
成年後見法制1	2	成年後見法制2	2
比較成年後見法制	2	成年後見制度実務	2
労働法A	2	労働法B	2
福祉国家論A	2	福祉国家論B	2
公共と市民	2	政府と企業	2
都市行政	2	都政研究	2
視覚障害教育総論	2	聴覚障害教育総論	2
障害児・者心理学1(ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ)		2	
障害児・者心理学3(学習)	2	病弱者の心理・生理・病理	2
障害者基礎理論	2	特別支援学校教育実習	3

教職関連科目

日本史1	2	日本史2	2
世界史1	2	世界史2	2
地理学概論1	2	地理学概論2	2
地誌概説1	2	地誌概説2	2
国際政治学A	2	国際政治学B	2
現代政治理論1A	2	現代政治理論1B	2
哲学(専)1	2	哲学(専)2	2
宗教学概論1	2	宗教学概論2	2

注:(必)印は必修科目である。

卒業要件:

1. 卒業に要する総単位数は、明治学院共通科目は必修科目 14 単位、選択必修科目 12 単位、自由選択科目 6～28 単位、学科科目は必修を含めて 70～92 単位、総合計 124 単位以上とする。
2. 明治学院共通科目のキリスト教の基礎A・B各 2 単位、英語コミュニケーション 4 単位、初習外国語 4 単位、コンピュータリテラシー1・2およびコンピュータリテラシー研究1A・1B・2A・2Bの内 2 単位は必修とする。
3. 明治学院共通科目の選択必修科目 12 単位については、心理学、法学(日本国憲法を含む)、経済学、社会学、数学、生物学、統計学、健康・スポーツ科学系科目と健康・スポーツ科学関連科目から番号を問わず選択必修とする。
4. 教職関連科目は教職科目の単位として認定されるものであり、卒業に必要な学科科目の単位としては認定されない。

法学部学科科目

法律学科

入門科目

民事法入門	2	刑事法入門	2
基礎法入門	2		

必修科目

憲法1A	2	憲法1B	2
民法総則1	2	民法総則2	2
債権総論1	2	債権総論2	2
物権法1	2	物権法2	2
刑法総論1	2	刑法総論2	2

A群

行政法1A	2	行政法1B	2
行政法2A	2	行政法2B	2
商法総則	2	商行為法	2
会社法1	2	会社法2	2
会社法3	2	手形法・小切手法A	2
手形法・小切手法B	2	有価証券法A	2
有価証券法B	2		

B群

民事訴訟法A	2	民事訴訟法B	2
刑事訴訟法A	2	刑事訴訟法B	2

C群

憲法2－1	2	憲法2－2	2
契約法1	2	契約法2	2
不法行為法	2	親族法	2
相続法	2	民事執行法A	2
民事執行法B	2	刑法各論1	2
刑法各論2	2		

D群

国際法1A	2	国際法1B	2
国際法2A	2	国際法2B	2
租税法1	2	租税法2	2
倒産法A	2	倒産法B	2
国際私法	2	国際取引法	2
労働法A	2	労働法B	2
競争法1	2	競争法2	2
知的財産権法1	2	知的財産権法2	2

E群

公法特講	2	公法演習	2
民事法特講	2	民事法演習	2
刑事法特講	2	刑事法演習	2
環境問題の展開と法1	2	環境問題の展開と法2	2
消費者行政法	2	高齢社会と法	2
成年後見法制1	2	成年後見法制2	2
比較成年後見法制	2	成年後見制度実務	2
情報と法	2		
地方自治法	2	公務員法	2
法人税法1	2	法人税法2	2
社会保障法	2	国際消費者法	2

環境政策と法	2	環境科学の展開	2
世界の環境を考える	2	持続可能な社会に向けて	2
環境保護と訴訟	2		
国際環境法1	2	国際環境法2	2
消費者問題と法	2	消費者法の実務	2
消費者取引特別法1	2		
消費者取引特別法2	2	消費者取引特別法3	2
不動産特別法	2	信託法	2
保険法	2	海商法	2
金融商品取引法	2	グローバル企業法	2
リスク管理と制度設計	2		
金融法実務	2	法律英語演習	2
経済刑法	2		
刑事政策	2	犯罪学	2
法医学1	2	法医学2	2

F群

法哲学1	2	法哲学2	2
西洋法制史1	2	西洋法制史2	2
法思想史A	2	法思想史B	2
法社会学A	2	法社会学B	2
日本法制史1	2	日本法制史2	2
近代日本法思想史	2	比較公法史	2
宗教法1	2	宗教法2	2
英米法1－1	2	英米法1－2	2
英米法2－1	2	英米法2－2	2
ドイツ法A	2	ドイツ法B	2
フランス法A	2	フランス法B	2
EU法	2		

G群

原典講読1	2	原典講読2	2
法情報処理	2	法学基礎演習	2
2年次演習	2	演習	4
演習・卒業論文	8	卒業論文	4
法律学特講1－1	2	法律学特講1－2	2
法律学特講2	2	法律学特講3	2
フィールドワーク（持続可能な開発および環境保全）	2		

関連部門

現代政治理論1A	2	現代政治理論1B	2
政治史1A	2	政治史1B	2
政治思想史1A	2	政治思想史1B	2
行政学A	2	行政学B	2
国際政治学A	2	国際政治学B	2
地方財政論A	2	地方財政論B	2
マスコミ論A	2	マスコミ論B	2

広報メディア論A	2	広報メディア論B	2
時事英語A	2	時事英語B	2
財政学1	2	財政学2	2
社会政策論1	2	社会政策論2	2
金融論1	2	金融論2	2
経済学概論1	2	経済学概論2	2
証券論1	2	証券論2	2
貿易論1	2	貿易論2	2
経営戦略論1	2	経営戦略論2	2
経営組織論1	2	経営組織論2	2
経営学原理1	2	経営学原理2	2
会計学総論1	2	会計学総論2	2
ﾋｭｰﾏﾝ･ﾘｿｰｽ･ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ1	2	ﾋｭｰﾏﾝ･ﾘｿｰｽ･ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ2	2
地域社会論	2	都市と地域の社会学	2
産業社会学A	2	産業社会学B	2
犯罪社会学	2	暴力の論理学	2
ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾘｾﾞｰｼｮﾝ論	2
社会人類学A	2	社会人類学B	2
Business English A	2	Business English B	2
Media English A	2	Media English B	2

その他

日本史1	2	日本史2	2
世界史1	2	世界史2	2
地理学概論1	2	地理学概論2	2
自然地理学1	2	自然地理学2	2
地誌概説1	2	地誌概説2	2
哲学(専)1	2	哲学(専)2	2
宗教学概論1	2	宗教学概論2	2
政治思想史2A	2	政治思想史2B	2
国際関係史A	2	国際関係史B	2
政治史2A	2	政治史2B	2
世界の経済1	2	世界の経済2	2

注1：学科科目A～F群において科目末尾にA・Bが付されている選択必修科目は、同名称のAとBの単位をともに取得した場合に限り、選択必修の単位と認める。AまたはB片方の単位を取得した場合は、選択科目の単位とする。

卒業要件：

1. 卒業に要する総単位数は、明治学院共通科目は必修 18 単位を含む 24 単位、学科科目は必修科目（10 科目 20 単位）および選択必修科目（A群 12 単位以上，B群4単位以上，C群 10 単位以上、D群8単位以上，E群 12 単位以上、F群4単位以上）を含めて 84 単位以上、フリーゾーン 22 単位、総合計 130 単位以上とする。
2. 明治学院共通科目必修 12 単位は、C群「英語コミュニケーション1A、1B、2A、2B」の 4 単位に加えて、同じくC群で英語以外の言語の中から一つを選択しその言語の「1A、1B、2A、2B」から 4 単位、さらにE群外国語研究の中から英語もしくは既習言語と同一言語の「1A、1B、2A、2B」の 4 単位とし、20 単位まで卒業単位として認める。
3. 明治学院共通科目のうち、D群「健康・スポーツ科学系科目」、E群「健康・スポーツ科学関連科目」は、8 単位まで卒業単位として認める。

4. 関連部門の科目については、24 単位に限り卒業に必要な単位に算入される。
5. 明治学院共通科目のうち、D群「法学1～2」は履修できない。
また、D群「キリスト教の諸相1～8」、「教育学1～2」、E群「野外地域研究A, B」は、卒業に必要な単位として認めない。
6「その他」の部門の日本史1、日本史2、世界史1、世界史2、地理学概論1、地理学概論2、自然地理学1、自然地理学2、地誌概説1、地誌概説2、哲学（専）1、哲学（専）2、宗教学概論1、宗教学概論2、政治思想史2A、政治思想史2B、国際関係史A、国際関係史B、政治史2A、政治史2B、世界の経済1、世界の経済2は、教職単位として認定されるもので、卒業に要する学科科目の単位としては認定されない。

政治学科

必修科目

政治学基礎演習	2		
政治学原論A	2	政治学原論B	2

基礎科目A群

憲法1A	2	憲法1B	2
国際政治学A	2	国際政治学B	2
憲法2－1	2	憲法2－2	2
現代政治理論1A	2	現代政治理論1B	2
政治体制論A	2	政治体制論B	2
行政学A	2	行政学B	2
地方政府論A	2	地方政府論B	2
公共政策論A	2	公共政策論B	2
政治史1A	2	政治史1B	2
日本政治論A	2	日本政治論B	2
計量政治分析A	2	計量政治分析B	2
政治社会学A	2	政治社会学B	2
演習・卒業論文	8		

展開科目B群

基礎科目A群の科目で、32 単位を超えて取得したものも展開科目B群の単位として加算される。

情報学概論A	2	情報学概論B	2
政治思想史1A	2	政治思想史1B	2
社会統計学	2		
比較政治A	2	比較政治B	2
政治文明論A	2	政治文明論B	2
国際関係史A	2	国際関係史B	2
戦争と平和A	2	戦争と平和B	2
NGO論A	2	NGO論B	2
政治史2A	2	政治史2B	2
国際組織論A	2	国際組織論B	2
現代政治理論2A	2	現代政治理論2B	2
政治心理学A	2	政治心理学B	2
情報メディア論A	2	情報メディア論B	2

マスコミ論A	2	マスコミ論B	2
広報メディア論A	2	広報メディア論B	2
福祉国家論A	2	福祉国家論B	2
政治思想史2A	2	政治思想史2B	2
都市行政	2	近代日本法思想史	2
都政研究	2	比較公法史	2
中国政治A	2	中国政治B	2
公共と市民	2	政府と企業	2
公務員法	2		
国際法1A	2	国際法1B	2
民法A	2	民法B	2
刑法総論1	2	刑法総論２	2
商法総則	2	商行為法	2
行政法1A	2	行政法1B	2
日本法制史1	2	日本法制史2	2
西洋法制史1	2	西洋法制史2	2
会社法1	2	会社法2	2
会社法3	2	地方自治法	2
財政学1	2	財政学2	2
新聞から知る現代社会演習	2	フィールドワーク	4
インターンシップA	2	インターンシップB	4
演習	4	卒業論文	4

選択科目C群

政治学特講1	2	政治学特講2	2
政治学特講3	2	政治学特講4	2
総合講座1	2	総合講座2	2
専門書講読A	2	専門書講読B	2
時事英語A	2	時事英語B	2
消費者問題と法	2	消費者法の実務	2
環境科学の展開	2		
環境問題の展開と法1	2	環境問題の展開と法2	2
民法総則1	2	民法総則2	2
物権法1	2	物権法2	2
債権総論1	2	債権総論2	2
世界経済論	4		
世界の経済1	2	世界の経済2	2
入門経済史1	2	入門経済史2	2
ミクロ経済政策	2	マクロ経済政策	2
経済学概論1	2	経済学概論2	2
環境論	4	情報と法	2
地方財政論A	2	地方財政論B	2
都市社会学A	2	都市社会学B	2
日本経済論1	2	日本経済論2	2
行政法2A	2	行政法2B	2
刑法各論1	2	刑法各論2	2
労働法A	2	労働法B	2
消費者行政法	2	社会保障法	2

EU法	2		
世界の環境を考える	2	持続可能な社会に向けて	2
フィールドワーク（持続可能な開発および環境保全）	2		
環境政策と法	2	グローバル企業法	2
リスク管理と制度設計	2		
国際環境法1	2	国際環境法2	2
環境保護と訴訟	2		
社会政策論1	2	社会政策論2	2
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1	2	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2	2
NPO論	2		

その他の科目

日本史1	2	日本史2	2
世界史1	2	世界史2	2
地理学概論1	2	地理学概論2	2
自然地理学1	2	自然地理学2	2
地誌概説1	2	地誌概説2	2
哲学(専)1	2	哲学(専)2	2
宗教学概論1	2	宗教学概論2	2

(学科科目の履修の方法)
必修科目　6 単位
A群より、32 単位以上
B群より、36 単位以上
C群より、20 単位以上
を含み、合計 94 単位以上を取得しなければならない。

卒業要件:

1. 卒業に要する総単位数は、明治学院共通科目は必修 14 単位を含む 24 単位、学科科目は必修 6 単位を含む 94 単位、フリーゾーン 12 単位、総合計 130 単位以上とする。
2. 明治学院共通科目の必修 8 単位は、C群「英語コミュニケーション1A、1B、2A、2B」の 4 単位に加えて、C群「英語1A、1B、2A、2B」、英語以外の言語の「1A、1B、2A、2B」の中から 4 単位とし、20 単位まで卒業単位として認める。
3. 明治学院共通科目のうち、D群「キリスト教の諸相1～8」、「教育学1～2」、E群「野外地域研究A, B」は、卒業に必要な単位として認めない。
4. 「その他」の部門の日本史1、日本史2、世界史1、世界史2、地理学概論1、地理学概論2、自然地理学1、自然地理学2、地誌概説1、地誌概説2、哲学(専)1、哲学(専)2、宗教学概論1、宗教学概論2は、教職単位として認定されるもので、卒業に要する学科科目の単位としては認定されない。

消費情報環境法学科

学科基礎科目

情報処理 1	2	情報処理2	2
情報処理3	2	情報処理4	2

4科目中2科目4単位選択必修

法律基礎科目群

契約法の基礎	2(必)		
民法総則1	2(必)	民法総則2	2(必)
物権法1	2(必)	物権法2	2(必)
債権総論1	2(必)	債権総論2	2(必)
契約法1	2	契約法2	2
憲法1A	2	憲法1B	2
憲法2－1	2	憲法2－2	2
行政法1A	2	行政法1B	2
不法行為法	2		
刑法総論1	2	刑法総論2	2
刑法各論1	2	刑法各論2	2
会社法1	2	会社法2	2
会社法3	2		
民事訴訟法A	2	民事訴訟法B	2
刑事訴訟法A	2	刑事訴訟法B	2
親族法	2	相続法	2

29科目中必修7科目の他に8単位選択必修

消費者法科目群

消費者問題と法	2	不動産特別法	2
経済刑法	2	消費者行政法	2
消費者取引特別法1	2	消費者取引特別法2	2
消費者取引特別法3	2	高齢社会と法	2
国際消費者法	2	消費者法の実務	2
情報と法	2	情報と職業	2
成年後見法制1	2	成年後見法制2	2

14科目中6単位選択必修

企業活動法科目群

競争法1	2	競争法2	2
租税法1	2	租税法2	2
労働法A	2	労働法B	2
有価証券法A	2	有価証券法B	2
金融商品取引法	2		
国際私法	2	国際取引法	2
アメリカ契約・不法行為法1	2	アメリカ契約・不法行為法2	2
民事執行法A	2	民事執行法B	2
グローバル企業法	2	金融法実務	2
倒産法A	2	倒産法B	2
知的財産権法1	2	知的財産権法2	2

21科目中6単位選択必修

環境法科目群

環境問題の基礎	2	環境問題の展開と法1	2
環境問題の展開と法2	2	環境政策と法	2
環境保護と訴訟	2	国際環境法1	2

国際環境法2	2	環境科学の基礎1	2
環境科学の基礎2	2	環境科学の展開	2
世界の環境を考える	2	持続可能な社会に向けて	2
フィールドワーク（持続可能な開発および環境保全）	2		

13科目中6単位選択必修

他に消費者法科目群、企業活動法科目群、環境法科目群の3群から任意に選択した科目を 12 単位選択必修。

特殊演習等

法情報処理演習1	2(必)	法情報処理演習2	2(必)
消費者法演習	2(必)	法律英語演習	2
リスク管理と制度設計	2		
インターンシップA	2	インターンシップB	4

上記の必修3科目を取得しなければならない。それ以外は選択科目。

インターンシップについては、AまたはBのいずれかを、在学中に限り履修できる。

演習・講読等

演習	4	演習・卒業論文	8
卒業論文	4	原典講読1	2
原典講読2	2	時事英語A	2
時事英語B	2	法律学特講1	2
法律学特講2	2	法律学特講3	2

関連部門

法律学科目

法哲学1	2	法哲学2	2
法思想史A	2	法思想史B	2
近代日本法思想史	2		
法社会学A	2	法社会学B	2
日本法制史1	2	日本法制史2	2
西洋法制史1	2	西洋法制史2	2
比較公法史	2		
宗教法1	2	宗教法2	2
行政法2A	2	行政法2B	2
地方自治法	2	公務員法	2
国際法1A	2	国際法1B	2
国際法2A	2	国際法2B	2
比較成年後見法制	2	成年後見制度実務	2
商法総則	2	商行為法	2
海商法	2	刑事政策	2
犯罪学	2	法医学1	2
法医学2	2	英米法1－1	2
英米法1－2	2	ドイツ法A	2
ドイツ法B	2	フランス法A	2
フランス法B	2	社会保障法	2
保険法	2	信託法	2
法人税法1	2	法人税法2	2

EU法	2		

政治学科目

現代政治理論1A	2	現代政治理論1B	2
政治史1A	2	政治史1B	2
政治思想史1A	2	政治思想史1B	2
行政学A	2	行政学B	2
国際政治学A	2	国際政治学B	2
地方財政論A	2	地方財政論B	2
マスコミ論A	2	マスコミ論B	2
広報メディア論A	2	広報メディア論B	2

経済学科目

財政学1	2	財政学2	2
社会政策論1	2	社会政策論2	2
金融論1	2	金融論2	2

経営学科目

会計学総論1	2	会計学総論2	2
経営学原理1	2	経営学原理2	2
証券論1	2	証券論2	2
貿易論1	2	貿易論2	2
経営戦略論1	2	経営戦略論2	2
経営組織論1	2	経営組織論2	2
ﾋｭｰﾏﾝ･ﾘｿｰｽ･ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ1	2	ﾋｭｰﾏﾝ･ﾘｿｰｽ･ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ2	2
経済学概論1	2	経済学概論2	2

社会学科目

地域社会論	2	都市と地域の社会学	2
産業社会学A	2	産業社会学B	2
犯罪社会学	2	暴力の論理学	2
ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾘｾﾞｰｼｮﾝ論	2
社会人類学A	2	社会人類学B	2

その他の科目

Business English A	2	Business English B	2
Media English A	2	Media English B	2

その他

世界の経済1	2	世界の経済2	2
日本史1	2	日本史2	2
世界史	2	世界史2	2
地理学概論1	2	地理学概論2	2
地誌概説1	2	地誌概説2	2
手形法・小切手法A	2	手形法・小切手法B	2
哲学(専)1	2	哲学(専)2	2
宗教学概論1	2	宗教学概論2	2

注1：(必)印は必修である。
注2：法律基礎科目群と企業活動科目群において科目末尾にA・Bが付されている選択必修科目は、同名称のAとBの単位をともに取得した場合に限り、選択必修の単位と認める。AまたはB片方の単位を取得した場合は、選択科目の単位とする。

卒業要件：
1. 卒業に要する総単位数は、明治学院共通科目は必修 12 単位を含む 24 単位、学科科目は必修 10 科目 20 単位、選択必修 42 単位を含む 76 単位、フリーゾーン 30 単位、総合計 130 単位以上とする。
2. 明治学院共通科目必修8単位は、C群「英語コミュニケーション1A、1B、2A、2B」の 4 単位に加えて、「英語1A、1B、2A、2B」の 4 単位かもしくは英語以外の言語の中から一つを選択しその言語の「1A、1B、2A、2B」の 4 単位、のいずれかとし、20 単位まで卒業単位として認める。
3. 明治学院共通科目のうち、D群「健康・スポーツ科学系科目」、E群「健康・スポーツ科学関連科目」は、8 単位まで卒業単位として認める。
4. 関連部門の科目については、24 単位に限り卒業に必要な単位に算入される。
5. 明治学院共通科目のうち、D群「法学1～2」および「環境学1～4」は履修できない。
また、D群「キリスト教の諸相1～8」、「教育学1～2」、E群「野外地域研究A、B」は卒業に必要な単位として認めない。
6「その他」の部門の日本史1、日本史2、世界史1、世界史2、地理学概論1、地理学概論2、地誌概説1、地誌概説2、哲学(専)1、哲学(専)2、宗教学概論1、宗教学概論2、世界の経済1、世界の経済2、手形法・小切手法A、手形法・小切手法Bは、教職単位として認定されるもので、卒業に要する学科科目の単位としては認定されない。

国際学部学科科目

国際学科

講読・実習・総合講座

基礎文献講読	1(必)	総合講座	2(必)
情報処理実習A	2	情報処理実習B	2

学科講義科目(1)

ジャパノロジー入門	4	社会科学入門	2
国際経済論	4	社会経済思想史	4
政治経済学	4	国際関係論	4
法学原論	4	平和学1	4
憲法	4	現代史	4
比較文化入門	2	宗教と社会	2
環境と社会	2	ジェンダーと社会	2
経済学入門	2		

専門外国語

専門外国語1	2(必)	専門外国語2	2(必)
専門外国語3	2(必)	専門外国語4	2(必)
専門外国語5	2(必)	専門外国語6	2(必)
専門外国語特講	2		

学科講義科目(2)

言語表現法	4	言語学概論	4

人間論	4	現代文明論	4
日本語教授法	4	多文化教育論	4
民俗学	4	生活学	4
比較文化論	4	地誌概説1	2
地誌概説2	2	人類学入門	4
比較文学論	4	英語教授法	4
比較経済論	4	南北問題	4
環境生態学	4	公共政策論	4
エネルギー論	4	開発経済学	4
経済原論	4	社会学原論	4
国際政治学1	4	国際政治史	4
政治思想史	4	民法	4
国際法	4		

学科講義科目(3)

文化人類学	4	現代文学論	4
情報社会論	4	文化交渉史	4
現代宗教論	4	日本文化論	4
ヨーロッパ芸術論	4	ヨーロッパ思想論	4
現代日本の文化と社会	4	ヨーロッパ文化論	4
キリスト教文化論	4	イスラム教文化論	4
仏教文化論	4	社会統計学	4
日本経済論	4	企業行動論	4
移行経済論	4	比較経済史	4
社会開発論	4	多国籍企業論	4
国際金融論	4	農業経済・食糧論	4
環境経済論	4	地域経済論	4
ヨーロッパ経済論	4	比較社会学	4
比較政治学1(政治制度)	4	比較政治学2(政治文化)	4
比較政治学3(政治変動)	4	国際政治学2	4
国際政治学3	4	国際経済法	4
国際関係法	4	国際組織論	4
比較政策論	4	国際社会学	4
国際福祉行政	4	平和学2	4
日本政治論	4	東北アジア地域研究	4
東南アジア地域研究	4	西・中央アジア地域研究	4
南アジア地域研究	4	オセアニア地域研究	4
北米地域研究	4	ヨーロッパ地域研究	4
中・南米地域研究	4	アフリカ地域研究	4
Japanese Culture A	2	Japanese Culture B	2
Japanese Religion and Society A	2	Japanese Religion and Society B	2
Culture and Society A	2	Culture and Society B	2
Contemporary Japanese Culture and Society A	2	Contemporary Japanese Culture and Society B	2
Comparative Literature A	2	Comparative Literature B	2
Information Society A	2	Information Society B	2
Pacific Island Studies A	2	Pacific Island Studies B	2
Minorities and Environment Issues A	2	Minorities and Environment Issues B	2

Art and Society A	2	Art and Society B	2
Contemporary Japanese Economy A	2	Contemporary Japanese Economy B	2
Economic Development in a Japanese Perspective A	2	Economic Development in a Japanese Perspective B	2
Technology and Development A	2	Technology and Development B	2
Economic Development of Southeast Asia A	2	Economic Development of Southeast Asia B	2
South Asian Studies A	2	South Asian Studies B	2
African Studies A	2	African Studies B	2
Fiscal and Financial System in Japan A	2	Fiscal and Financial System in Japan B	2
Aid and Development A	2	Aid and Development B	2
Social Development A	2	Social Development B	2
Environmental Issues in Japan A	2	Environmental Issues in Japan B	2
Agriculture and Economic Development in Japan A	2	Agriculture and Economic Development in Japan B	2
Economic Development of East Asia A	2	Economic Development of East Asia B	2
Politics and Society in Japan A	2	Politics and Society in Japan B	2
Issues in Peace and Security A	2	Issues in Peace and Security B	2
Theories of Peace and Conflict A	2	Theories of Peace and Conflict B	2
Conflicts and Interntional Court A	2	Conflicts and Interntional Court B	2
History of International Politics A	2	History of International Politics B	2
Comparative Politics in Asia A	2	Comparative Politics in Asia B	2
History of U.S.-Japanese Relations A	2	History of U.S.-Japanese Relations B	2
Legal Issues in International Relations A	2	Legal Issues in International Relations B	2
International Political Economy A	2	International Political Economy B	2
Gender and Society A	2	Gender and Society B	2
Special Seminar 1	2	Special Seminar 2	2
UC Director's Lecture	4	Independent Study	2

演習・実習・卒業論文

演習1	2(必)	演習 2	2(必)
演習3	2(必)	校外実習A	4
校外実習B	2	インターンシップA	4
インターンシップB	2	卒業論文	4(必)

教職・その他関連部門

日本史1	2	日本史2	2
世界史1	2	世界史2	2
地理学概論1	2	地理学概論2	2
自然地理学1	2	自然地理学2	2
哲学(専)1	2	哲学(専)2	2
宗教学概論1	2	宗教学概論2	2
政治史1A	2	政治史1B	2
教育実習	5	教育実習	3

卒業要件:

1. 卒業に要する総単位数は、明治学院共通科目 24 単位、フリーゾーン 26 単位、学科科目 77 単位(うち必修 25 単位)、総合計 127 単位以上とする。
2. 明治学院共通科目外国語基本科目8単位必修は、英語以外の1外国語8単位とする。

国際キャリア学科

学術英語科目 I

Introductory Seminar - Reading & Writing Sections 1A	4(必)	Introductory Seminar - Reading & Writing Sections 1B	4(必)
Critical Reading & Writing 1A	4(必)	Critical Reading & Writing 1B	4(必)
Multi-Media Communication & Research Writing 2A	4(必)	Multi-Media Communication & Research Writing 2B	4(必)

学術英語科目 II

Tutorial/Lab 1A	1	Tutorial/Lab 1B	1
Academic & Seminar Skills 1A	4	Academic & Seminar Skills 1B	4
Tutorial/Lab 2A	1	Tutorial/Lab 2B	1
Academic & Seminar Skills 2A	4	Academic & Seminar Skills 2B	4
Tutorial 3A	1	Tutorial 3B	1
Tutorial 4A	1	Tutorial 4B	1
Communication in the 21st C	2	Communication in the 21st C - Discussion Section	2

初級科目(演習科目)

Introductory Seminar 1	4(必)	Introductory Seminar 2	4(必)

初級科目(講義科目)

Global History A	2	Global History B	2
Introduction to Economics A	2	Introduction to Economics B	2
Introduction to Sociology	4	International Law	4
Regional Development and World Economy	4	Introduction to International Relations	2
Culture and Society	4	Japanese Culture	4
Intercultural Communication	2	Community Development (Service Learning)	2
Politics and Society in Japan	2	Qualitative Methods	2
Quantitative Methods	2	Life and Career Development 1	2(必)

Life and Career Development 2	2(必)	Introduction to Information Literacy	2
Information Literacy	2		

上級科目(講義科目)

International Disputes Settlement Procedures	4	Peace Studies	2
International Finance	2	International Journalism	2
International Political Economy	2	Gender and Society	4
Minorities Issues	4	Buddhist Culture	4
Islamic Culture	2	Japanese Literature	4
Japanese Popular Culture	2	Inter-Cultural History	2
Social Development (Service Learning)	2	Localization: How to think and act locally (Service Learning)	2
Contemporary Japanese Economy A	2	Contemporary Japanese Economy B	2
Chinese Economy	2	Economy of West Asia	4
Economy of South East Asia	4	Regional Economic Integration	4
Legal Issues in International Relations	2	Minority Politics	2
Workshop	2	Contemporary Global Issues A	2
Contemporary Global Issues B	2		

演習・実習科目

Field Study Seminar	2	Field Study A	4
Field Study B	2	Internship A	6
Internship B	4	Independent Study A	4
Independent Study B	2	Graduation Seminar	2(必)
Graduation Project A	4	Graduation Project B	4

国際学科科目(講義科目)

国際経済論	4	南北問題	4
日本政治論	4	比較文化論	4
現代文学論	4	日本語教授法	4
環境経済論	4	東北アジア地域研究(政治)	2
ヨーロッパ芸術論	4		

卒業要件:

1. 卒業に要する総単位数は、学術英語科目24単位(うち必修24単位)、明治学院共通科目12単位(うち必修4単位)、初級科目22単位(うち必修12単位)、上級科目34単位(うち必修2単位)、フリーゾーン38単位、総合計130単位以上とする。

2. 明治学院共通科目の外国語基本科目、外国語研究、留学生関連科目のうち、英語を除く1ヶ国語8単位を選択必修とする。

履修科目の登録の上限: 1・2年次 各学期23単位/年間46単位
3年次以降 各学期24単位/年間48単位

心理学部学科科目

心理学科

基幹科目

心理支援論1A	2(必)	心理支援論1B	2(必)

心理支援論2A	2(必)	心理支援論2B	2(必)
心理支援論3	2(必)		
心理支援論(総合)A	2(必)	心理支援論(総合)B	2(必)

注(必)印は必修科目とする。

基礎科目

講義科目

心の健康	2(必)	心理学概論 A	2(必)
心理学概論 B	2(必)	心理学研究法	2(必)
心理統計法	2(必)	調査法	2(必)
○生理心理学概論	2(選必)	○認知心理学概論	2(選必)
○社会心理学概論	2(選必)	○発達心理学概論	2(選必)
○臨床心理学概論	2(選必)		

注(選必)印は選択必修科目とする。上記○印 5 科目のうち、3 科目必修。他は選択科目。

実験・実習科目

基礎統計学	2(必)	心理学基礎実験	2(必)

注(必)印は必修科目とする。

○観察・面接法実習	1(選必)	○調査法実習	1(選必)
○検査法実習	1(選必)		

注(選必)印は選択必修科目とする。上記○印 3 科目のうち、1 科目必修。他は選択科目。

(教職関連科目)

社会学概論A	2	社会学概論B	2
社会福祉学概論A	2	社会福祉学概論B	2
教育心理学	2	家族社会学	2

専門科目

講義科目

知覚心理学・学習心理学領域

学習心理学	2	思考心理学	2
知覚心理学	2		

生理心理学・比較心理学領域

生理心理学	2		

教育心理学・発達心理学領域

生涯発達心理学(青年)	2	生涯発達心理学(成人・老年)	2
学校心理学	2	発達臨床心理学	2

臨床心理学・人格心理学領域

パーソナリティ心理学	2	心身医学	2
心理アセスメント	2	精神分析学	2
グループアプローチ	2	健康心理学	2
犯罪心理学	2	認知行動療法	2
精神医学	2		

社会心理学・産業心理学領域

対人社会心理学	2	産業・組織心理学	2
コミュニティ心理学	2	家族心理学	2
キャリア心理学	2	社会病理学	2

研究法・英語講読

質的研究法	2	応用統計学	2
心理学英語講読Ａ	2	心理学英語講読Ｂ	2

専門実習科目

生理心理学実習	1	臨床心理実習Ａ	1
臨床心理実習Ｂ	1	社会・認知心理学実習	1

演習科目

演習1	2	演習2	2

卒業論文

卒業論文	6

教職関連科目(卒業要件外)

日本史1	2	日本史2	2
世界史1	2	世界史2	2
地誌概説1	2	地誌概説2	2
地理学概論1	2	地理学概論2	2
憲法A	2	憲法B	2
民法A	2	民法B	2
現代政治理論 1A	2	現代政治理論 1B	2
国際政治学A	2	国際政治学B	2
哲学(専)1	2	哲学(専)2	2
宗教学概論1	2	宗教学概論2	2
イギリス研究A	2	イギリス研究B	2
労働法A	2	労働法B	2

卒業要件:以下の3項目、合計124単位を取得しなければならない。

1. 明治学院共通科目　24単位
   (キリスト教基本科目4単位・外国語基本科目8単位・情報処理科目2単位を含む)
2. 学科科目　70単位（必修30単位・選択必修７単位・選択33単位)
3. フリーゾーン　30単位

合計　124単位

教育発達学科

心理学部共通科目

基幹科目

心理支援論 1A	2(必)	心理支援論 1B	2(必)
心理支援論 2A	2(必)	心理支援論 2B	2(必)

心理学科目

生涯発達心理学(乳幼児)	2(必)	生涯発達心理学(児童)	2(必)
生涯発達心理学(青年)	2(必)	生涯発達心理学(成人・老年)	2
健康心理学	2	対人社会心理学	2

学科科目

子ども理解領域

心理学科目

教育発達学概論	2(必)	子どもの学習支援の心理学	2(必)
子どもの行動理解の心理学	2(必)	子どもと家族支援の心理学	2(必)
教育心理学	2(必)	心理・教育研究法	2
心理・教育統計学	2		

教育学(初等教育)科目

教育原論	2(必)	教育課程編成論	2
幼児教育課程論	2	教職概論	2
教育の制度と経営	2(必)	教育社会学	2
教育方法論	2(必)	子ども文化	2
小学校英語活動	2	日本国憲法	2
体育理論	2	国語	2(必)
算数	2(必)	社会	2
理科	2	生活	2(必)
音楽	2(必)	家庭	2
図画工作	2(必)	体育	2(必)
音楽実技1	1(必)	音楽実技2	1
音楽実技3	1		

障害科学科目

特別支援教育学総論Ａ	2(必)	特別支援教育学総論Ｂ	2
知的障害の病理	2(必)	病弱の心理・生理・病理	2
病弱教育総論	2	肢体不自由の生理と病理	2
肢体不自由者教育論	2		

実習科目

体験活動方法論Ａ	1(必)	体験活動方法論Ｂ	1(必)

子ども支援領域

心理学科目

障害児・者心理学 1(ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ)	2(必)	障害児・者心理学 2(行動)	2
障害児・者心理学 3(学習)	2	肢体不自由者の心理	2
学校心理学	2	教育相談の理論と方法	2(必)
幼児理解の理論と方法	2		

教育学(初等教育)科目

生徒・進路指導の理論と方法	2(必)	国語科指導法	2
算数科指導法	2	社会科指導法	2
理科指導法	2	家庭科指導法	2
音楽科指導法	2	図画工作科指導法	2
体育科指導法	2	生活科指導法	2

道徳教育の指導法	2	特別活動の指導法	2
小学校英語研究	2	保育内容の指導法	2
保育内容(健康)	2	保育内容(環境)	2
保育内容(人間関係)	2	保育内容(言葉)	2
保育内容(音楽表現)	2	保育内容(造形表現)	2
障害科学科目			
障害児教育相談とアセスメント	2(必)	知的障害者教育課程論	2
知的障害者指導論	2	知的障害教育学総論	2
視覚障害教育総論	2	聴覚障害教育総論	2
実習科目			
障害児基礎実習 A	2	障害児基礎実習 B	2
障害児実習 A	2	障害児実習 B	2
教育実習 1	5	教育実習 2	3
特別支援学校教育実習	3		
演習科目			
教育発達学演習 1	2(必)	教育発達学演習 2	2(必)
教職実践演習(幼・小)	2		
卒業研究			
卒業研究	6		

卒業要件:

明治学院共通科目　必修 8 単位、選択必修 6 単位
(キリスト教基本科目 4 単位、外国語基本科目 8 単位、
情報処理基本科目 2 単位を含む)

心理学部共通科目　必修 14 単位

学科科目・子ども理解領域　必修 35 単位、選択 8 単位以上

学科科目・子ども支援領域　必修 12 単位、選択 18 単位以上

上記を含む 124 単位以上を取得すること。

教職課程

教職に関する科目

教職研究	2	教育の思想と歴史	2
発達と学習の心理学	2	教育制度論	2
教育課程論	2		
英語科教育研究1	2	英語科教育研究 2	2
英語科教育研究3	2	英語科教育研究 4	2
フランス語科教育研究1	2	フランス語科教育研究 2	2

フランス語科教育研究3	2	フランス語科教育研究４	2
社会科・地理歴史科教育研究1	2	社会科・地理歴史科教育研究	
社会科・公民科教育研究１	2	2	2
		社会科・公民科教育研究２	2
商業科教育研究１	2	商業科教育研究２	2
情報科教育研究１	2	情報科教育研究２	2
教育の方法と技術	2		
道徳教育研究	2	特別活動研究	2
生徒理解と指導法	2	相談活動の理論と技法	2
教職実践演習（中・高）	2	教育実習	3又は5
教育学研究	2	心理学研究	2
		教育研究演習	4
教育心理演習	4	教育臨床・実験	2

別表第２－１　入学金

区分	金額
入学金	300,000

別表第２－２　授業料

(1)文学部(英文学科･フランス文学科)、経済学部、社会学部、法学部

区分	2011 年度生	2010 年度生	2009 年度生	2008 年度生
第 1 年次	781,000	781,000	781,000	781,000
第 2 年次	781,000	781,000	781,000	781,000
第 3 年次	781,000	781,000	781,000	781,000
第 4 年次	781,000	781,000	781,000	781,000

(2)文学部(芸術学科)

区分	2011 年度生	2010 年度生	2009 年度生	2008 年度生
第 1 年次	847,000	847,000	847,000	847,000
第 2 年次	847,000	847,000	847,000	847,000
第 3 年次	847,000	847,000	847,000	847,000
第 4 年次	847,000	847,000	847,000	847,000

(3)国際学部(国際学科)

区分	2011 年度生	2010 年度生	2009 年度生	2008 年度生
第 1 年次	831,000	831,000	831,000	831,000
第 2 年次	831,000	831,000	831,000	831,000
第 3 年次	831,000	831,000	831,000	831,000
第 4 年次	831,000	831,000	831,000	831,000

(4)国際学部(国際キャリア学科)

区分	2011 年度生
第 1 年次	951,000
第 2 年次	951,000
第 3 年次	951,000
第 4 年次	951,000

(5)心理学部

区分	2011 年度生	2010 年度生	2009 年度生	2008 年度生
第 1 年次	811,000	811,000	811,000	811,000
第 2 年次	811,000	811,000	811,000	811,000
第 3 年次	811,000	811,000	811,000	811,000
第 4 年次	811,000	811,000	811,000	811,000

別表第２－３　施設費

区分	金額
施設費	毎年次 155,000

別表第2－4　設備費

区分	学部・学科	金額
設備費 （毎年次）	国際学部国際キャリア学科	50,000
	心理学部心理学科 （2009年度生まで） （2010年度生以降）	 20,000 30,000
	心理学部教育発達学科	60,000
	上記以外の学部学科	20,000

明治学院大学学則の変更の事由と変更点

１．変更事由

国際学部に国際キャリア学科を設置することに伴う変更。

２．変更点

第１章　総則　第２条　設置する学部・学科

第４条　入学定員・収容定員

第２章　学部等の目的・教育目標

第５条　人材養成上の目的・教育目標

第６章　試験・卒業および称号

第44条　学位

別表第１　授業科目および履修方法の別表

別表第2-2　授業料

別表第2-4　設備費

規程名　　**明治学院大学学則**

新　旧　対　照　表（案）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th></tr>
<tr><td>
第１章　総則
（略）
第２条　本学に次の学部および学科を置く。
文学部　英文学科　フランス文学科
芸術学科　心理学科
経済学部　経済学科　経営学科
国際経営学科
社会学部　社会学科　社会福祉学科
法学部　法律学科　政治学科
消費情報環境法学科
国際学部　国際学科　**国際キャリア学科**
心理学部　心理学科　教育発達学科
文学部第二部　英文学科
経済学部第二部　経済学科　経営学科
（略）
第４条　毎年入学させる学生定員および収容定員は，次のとおりとする。
（入学定員）（収容定員）
文学部　英文学科　200　800
フランス文学科　120　480
芸術学科　125　500
心理学科　0　0
経済学部　経済学科　290　1,160
経営学科　180　720
国際経営学科　140　560
</td><td>
第１章　総則
（略）
第２条　本学に次の学部および学科を置く。
文学部　英文学科　フランス文学科
芸術学科　心理学科
経済学部　経済学科　経営学科
国際経営学科
社会学部　社会学科　社会福祉学科
法学部　法律学科　政治学科
消費情報環境法学科
国際学部　国際学科
心理学部　心理学科　教育発達学科
文学部第二部　英文学科
経済学部第二部　経済学科　経営学科
（略）
第４条 毎年入学させる学生定員および収容定員は，次のとおりとする。
（入学定員）（収容定員）
文学部　英文学科　200　800
フランス文学科　120　480
芸術学科　125　500
心理学科　0　0
経済学部　経済学科　290　1,160
経営学科　180　720
国際経営学科　140　560
</td></tr>
</table>

社会学部	社会学科	230	920
	社会福祉学科	240	960
法学部	法律学科	280	1,120
	政治学科	120	480
	消費情報環境法学科	175	700
国際学部	国際学科	**220**	**880**
	国際キャリア学科	**50**	**200**
心理学部	心理学科	160	640
	教育発達学科	100	400
計		2,630	10,520
文学部第二部	英文学科	0	0
経済学部第二部	経済学科	0	0
	経営学科	0	0
計		0	0
総計		2,630	10,520

第２章　学部等の目的・教育目標

第５条　本学は学科ごとに、人材養成上の目的・教育目標を以下に定める。

(略)

国際学部

国際学部の教育目標は、現代のグローバル社会の諸相を理解し、世界の平和と福祉に貢献する人材の育成である。グローバル社会の諸相を理解するためには、私たちが生活している日本社会を十分に理解したうえで、グローバル社会の諸問題を、政治・経済・文化の各分野から総合的に検討するという研究方法が不可欠であり、この総合的で学際的な研究方法こそ、本学部の顕著な特徴である。

世界の平和と福祉に貢献する人材の育成のためには、現実に生じている複合的な問題を整理し、その解決策を探るだけではなく、世界の他の国の人々と直接コミュニケーションし、共同で作業を行うという経験が必要である。本学

社会学部	社会学科	230	920
	社会福祉学科	240	960
法学部	法律学科	280	1,120
	政治学科	120	480
	消費情報環境法学科	175	700
国際学部	国際学科	**270**	**1,080**
心理学部	心理学科	160	640
	教育発達学科	100	400
計		2,630	10,520
文学部第二部	英文学科	0	0
経済学部第二部	経済学科	0	0
	経営学科	0	0
計		0	0
総計		2,630	10,520

第２章　学部等の目的・教育目標

第５条 本学は学科ごとに、人材養成上の目的・教育目標を以下に定める。

(略)

国際学部

国際学部の教育目標は、現代のグローバル社会の諸相を理解し、世界の平和と福祉に貢献する人材の育成である。グローバル社会の諸相を理解するためには、私たちが生活している日本社会を十分に理解したうえで、グローバル社会の諸問題を、政治・経済・文化の各分野から総合的に検討するという研究方法が不可欠であり、この総合的で学際的な研究方法こそ、本学部の顕著な特徴である。

世界の平和と福祉に貢献する人材の育成のためには、現実に生じている複合的な問題を整理し、その解決策を探るだけではなく、世界の他の国の人々と直接コミュニケーションし、共同で作業を行うという経験が必要である。本学

部では全学生が在学中にこれらの国際的な経験を積むことができるように配慮する。 国際学科 　国際学科は、グローバル社会の諸問題に対する、政治・経済・文化の各分野からの総合的な理解能力を涵養するとともに、多様な国際的実地経験を通して社会的知性をはぐくみ、文化の多様性に対する認識と異文化間コミュニケーション能力を持つ人材を養成することを目標とする。 **国際キャリア学科** 　**国際キャリア学科は、グローバル社会の諸問題に対する、政治・経済・文化の各分野からの総合的な理解能力を涵養するとともに、多言語でのコミュニケーション能力を身につけ、多様な環境の下に生きる人々と協力し、リーダーシップを発揮できる能力を持つ人材を養成することを目標とする。** （略） 　第６章　試験・卒業および称号 （略） 第 44 条　本学卒業者には以下に定める学士の学位を授与する。 文学部　英文学科　学士（英文学） フランス文学科　学士（フランス文学） 芸術学科　学士（芸術学） 心理学科　学士（心理学） 経済学部　経済学科　学士（経済学） 経営学科　学士（経営学） 国際経営学科　学士（国際経営学） 社会学部　社会学科　学士（社会学） 社会福祉学科　学士（社会福祉学）	部では全学生が在学中にこれらの国際的な経験を積むことができるように配慮する。 国際学科 　国際学科は、グローバル社会の諸問題に対する、政治・経済･文化の各分野からの総合的な理解能力を涵養するとともに､多様な国際的実地経験を通して社会的知性をはぐくみ､文化の多様性に対する認識と異文化間コミュニケーション能力を持つ人材を養成することを目標とする。 （略） 　第６章　試験・卒業および称号 （略） 第 44 条　本学卒業者には以下に定める学士の学位を授与する。 文学部　英文学科　学士（英文学） フランス文学科　学士（フランス文学） 芸術学科　学士（芸術学） 心理学科　学士（心理学） 経済学部　経済学科　学士（経済学） 経営学科　学士（経営学） 国際経営学科　学士（国際経営学） 社会学部　社会学科　学士（社会学） 社会福祉学科　学士（社会福祉学）

法学部　法律学科　学士（法学） 政治学科　学士（政治学） 消費情報環境法学科　学士（法学） 国際学部　国際学科　学士（国際学） **国際キャリア学科　学士（国際学）** 心理学部　心理学科　学士（心理学） 教育発達学科　学士（教育発達学） （略） **付　則** **平成 23 年 4 月 1 日一部改正施行（第 2，4，5，44 条　国際学部国際キャリア学科の設置。国際学部国際学科の収容定員を変更。別表第 1，別表第 2-2，別表第 2-4 の変更。）**	法学部　法律学科　学士（法学） 政治学科　学士（政治学） 消費情報環境法学科　学士（法学） 国際学部　国際学科　学士（国際学） 心理学部　心理学科　学士（心理学） 教育発達学科　学士（教育発達学） （略）

規程名　　**大学学則**－授業科目および履修方法の別表　**国際キャリア学科**

新　旧　対　照　表(案)

新		旧
国際学部学科科目 国際キャリア学科 学術英語科目 　学術英語科目 I 　Introductory Seminar – Reading & Writing Sections 1A 　Introductory Seminar – Reading & Writing Sections 1B 　Critical Reading & Writing 1A 　Critical Reading & Writing 1B 　Multi-Media Communication & Research Writing 2A 　Multi-Media Communication & Research Writing 2B 　学術英語科目 II 　Tutorial/Lab 1A 　Tutorial/Lab 1B 　Academic & Seminar Skills 1A 　Academic & Seminar Skills 1B 　Tutorial/Lab 2A 　Tutorial/Lab 2B 　Academic & Seminar Skills 2A 　Academic & Seminar Skills 2B 　Tutorial 3A 　Tutorial 3B	 4(必) 4(必) 4(必) 4(必) 4(必) 4(必) 1 1 4 4 1 1 4 4 1 1	

Tutorial 4A	1	
Tutorial 4B	1	
Communication in the 21st C	2	
Communication in the 21st C - Discussion Section	2	
初級科目		
演習科目		
Introductory Seminar 1	4(必)	
Introductory Seminar 2	4(必)	
講義科目		
Global History A	2	
Global History B	2	
Introduction to Economics A	2	
Introduction to Economics B	2	
Introduction to Sociology	4	
International Law	4	
Regional Development and World Economy	4	
Introduction to International Relations	2	
Culture and Society	4	
Japanese Culture	4	
Intercultural Communication	2	
Community Development (Service Learning)	2	
Politics and Society in Japan	2	
Qualitative Methods	2	
Quantitative Methods	2	
Life and Career Development 1	2(必)	
Life and Career Development 2	2(必)	
Introduction to Information Literacy	2	
Information Literacy	2	

上級科目		
講義科目		
International Disputes Settlement Procedures	4	
Peace Studies	2	
International Finance	2	
International Journalism	2	
International Political Economy	2	
Gender and Society	4	
Minorities Issues	4	
Buddhist Culture	4	
Islamic Culture	2	
Japanese Literature	4	
Japanese Popular Culture	2	
Inter-Cultural History	2	
Social Development (Service Learning)	2	
Localization: How to think and act locally (Service Learning)	2	
Contemporary Japanese Economy A	2	
Contemporary Japanese Economy B	2	
Chinese Economy	2	
Economy of West Asia	4	
Economy of South East Asia	4	
Regional Economic Integration	4	
Legal Issues in International Relations	2	
Minority Politics	2	
Workshop	2	
Contemporary Global Issues A	2	
Contemporary Global Issues B	2	
演習・実習科目		
Field Study Seminar	2	
Field Study A	4	
Field Study B	2	

Internship A	6	
Internship B	4	
Independent Study A	4	
Independent Study B	2	
Graduation Seminar	2(必)	
Graduation Project A	4	
Graduation Project B	4	
国際学科科目		
講義科目		
国際経済論	4	
南北問題	4	
日本政治論	4	
比較文化論	4	
現代文学論	4	
日本語教授法	4	
環境経済論	4	
東北アジア地域研究（政治）	2	
ヨーロッパ芸術論	4	
卒業要件：		
１．卒業に要する総単位数は、学術英語科目 24 単位(うち必修 24 単位)、明治学院共通科目 12 単位（うち必修 4 単位)、初級科目 22 単位（うち必修 12 単位)、上級科目 34 単位（うち必修 2 単位)、フリーゾーン 38 単位、総合計 130 単位以上とする。		
２．明治学院共通科目の外国語基本科目、外国語研究、留学生関連科目のうち、英語を除く１ヶ国語８単位を選択必修とする。		
履修科目の登録の上限： 1・2 年次　各学期 23 単位/年間 46 単位 3 年次以降 各学期 24 単位/年間 48 単位		

新

別表第 2-2　授業料

授業料

(1) 文学部(英文学科・フランス文学科)、経済学部、社会学部、法学部

区分	2011 年度生	2010 年度生	2009 年度生	2008 年度生
第 1 年次	781,000	781,000	781,000	781,000
第 2 年次	781,000	781,000	781,000	781,000
第 3 年次	781,000	781,000	781,000	781,000
第 4 年次	781,000	781,000	781,000	781,000

(2) 文学部(芸術学科)

区分	2011 年度生	2010 年度生	2009 年度生	2008 年度生
第 1 年次	847,000	847,000	847,000	847,000
第 2 年次	847,000	847,000	847,000	847,000
第 3 年次	847,000	847,000	847,000	847,000
第 4 年次	847,000	847,000	847,000	847,000

(3) 国際学部 (国際学科)

区分	2011 年度生	2010 年度生	2009 年度生	2008 年度生
第 1 年次	831,000	831,000	831,000	831,000
第 2 年次	831,000	831,000	831,000	831,000
第 3 年次	831,000	831,000	831,000	831,000
第 4 年次	831,000	831,000	831,000	831,000

(4) 国際学部 (国際キャリア学科)

旧

別表第 2-2　授業料

授業料

(1) 文学部(英文学科・フランス文学科)、経済学部、社会学部、法学部

区分	2010 年度生	2009 年度生	2008 年度生	2007 年度生
第 1 年次	781,000	781,000	781,000	781,000
第 2 年次	781,000	781,000	781,000	781,000
第 3 年次	781,000	781,000	781,000	781,000
第 4 年次	781,000	781,000	781,000	781,000

(2) 文学部(芸術学科)

区分	2010 年度生	2009 年度生	2008 年度生	2007 年度生
第 1 年次	847,000	847,000	847,000	847,000
第 2 年次	847,000	847,000	847,000	847,000
第 3 年次	847,000	847,000	847,000	847,000
第 4 年次	847,000	847,000	847,000	847,000

(3) 国際学部

区分	2010 年度生	2009 年度生	2008 年度生	2007 年度生
第 1 年次	831,000	831,000	831,000	831,000
第 2 年次	831,000	831,000	831,000	831,000
第 3 年次	831,000	831,000	831,000	831,000
第 4 年次	831,000	831,000	831,000	831,000

区分	2011 年度生
第 1 年次	951,000
第 2 年次	951,000
第 3 年次	951,000
第 4 年次	951,000

(5)心理学部

区分	2011 年度生	2010 年度生	2009 年度生	2008 年度生
第 1 年次	811,000	811,000	811,000	811,000
第 2 年次	811,000	811,000	811,000	811,000
第 3 年次	811,000	811,000	811,000	811,000
第 4 年次	811,000	811,000	811,000	811,000

別表第 2-4　設備費

区分	学部・学科	金額
設備費 (毎年次)	国際学部国際キャリア学科	50,000
	心理学部心理学科 (2009 年度生まで) (2010 年度生以降)	 20,000 30,000
	心理学部教育発達学科	60,000
	上記以外の学部学科	20,000

(4)心理学部

区分	2010 年度生	2009 年度生	2008 年度生	2007 年度生
第 1 年次	811,000	811,000	811,000	811,000
第 2 年次	811,000	811,000	811,000	811,000
第 3 年次	811,000	811,000	811,000	811,000
第 4 年次	811,000	811,000	811,000	811,000

別表第 2-4　設備費

区分	学部・学科	金額
設備費 (毎年次)	心理学部心理学科 (2009 年度生まで) (2010 年度生以降)	 20,000 30,000
	心理学部教育発達学科	60,000
	上記以外の学部学科	20,000

「教授会規程」について

本学では独立した規程としての「教授会規程」は定められておりませんが、大学学則の第 65 条から第 71 条に教授会の構成員と議決事項が定められています。

『明治学院大学学則』(抜粋)

第8章　職員組織

第 65 条　学部(含む教養教育センター)に教授会を置き，教授をもって組織する。ただし，必要により准教授，専任講師，助手を加えることができる。

第 66 条　学部長は，教授会を招集し，その議長となる。

2　教授会は，次の事項を審議する。ただし，第 1 号より第 5 号までの事項については，その決定は大学評議会の承認を得なければならない。

(1) 学部長候補者の推薦に関する事項

(2) 教員の任免，留学者の人選等学部の人事に関する事項

(3) 学部の予算編成に関する事項

(4) 学科の設置および廃止に関する事項

(5) 授業科目の設置および廃止に関する事項

(6) 学科課程ならびに履修指導に関する事項

(7) 入学，留学，退学，休学，転学科および編入学に関する事項

(8) 学生の賞罰に関する事項

(9) 試験および卒業に関する事項

(10) 委託生，科目等履修生および外国人学生に関する事項

(11) その他学部の組織運営に関する事項

第 67 条　教養教育センター長は教授会を招集し，その議長となる。

2　教授会は次の事項を審議する。ただし，第 1 号より第 4 号までの事項については，その決定は大学評議会の承認を得なければならない。

(1) 教養教育センター長候補者の推薦に関する事項

(2) 教員の任免，留学者の人選等教養教育センターの人事に関する事項

(3) 教養教育センターの予算編成に関する事項

(4) 授業科目の設置および廃止に関する事項

(5) 授業科目の履修指導に関する事項

(6) 試験および入学，卒業に関する事項

(7) 委託生，科目等履修生および外国人学生に関する事項

(8) その他教養教育センターの組織運営に関する事項

第68条　本学に大学評議会を置き，学長，学部（含む教養教育センター，法務職研究科）長と各学部（含む教養教育センター，法務職研究科）教授会より選出された教授各2名をもって組織する。

2　学長は大学評議会を招集し，その議長となる。

第69条　大学評議会は，下記の事項を審議する。

(1)　学部（含む教養教育センター，法務職研究科）長候補者の推薦に関する事項

(2)　教員の任免，留学者の人選等大学の人事に関する事項

(3)　大学の予算編成に関する事項

(4)　学部（含む教養教育センター），学科の設置および廃止に関する事項

(4の2)　研究科，専攻の設置および廃止に関する事項

(5)　授業科目の設置および廃止に関する事項

(6)　大学の組織および運営に関する事項

(7)　学則，その他重要規則の変更に関する事項

(8)　その他学内の連絡調整を要する事項

第70条　本学に連合教授会を置き，各学部（含む教養教育センター，法務職研究科）の教授，准教授，専任講師をもって組織する。

2　学長は連合教授会を招集し，その議長となる。ただし，必要により助手，副手および職員を加えることができる。

第71条　連合教授会は，次の事項を審議する。

(1)　学長候補者の推薦に関する事項

(2)　研究科，学部およびこれに準ずる組織の設置ならびに廃止に関する事項

(3)　その他学長の諮問した全学的事項